

<早稲田大学グリークラブ 1955年夏季演奏旅行より> 最終日／鹿児島公演

1955/08/14 鹿児島市 山形屋劇場
オープンリールテープより

指揮：山本 健二

1. 「ロシア民謡」

- 1) ボルガの舟歌（独唱：藤井幸一）
- 2) 12人の盗賊（独唱：鈴木良男）
- 3) ステンカラージン（独唱：高橋生久、京須建男）
- 4) プラトフの歌（独唱：京須建男）

2. 「ブラームス ドイツ民謡」

- 5) 面影
- 6) 葦野の騎士
- 7) 汝こそ我が光
- 8) パラの唇

3. 「階調曲」

- 9) どんぐりころころ
- 10) 山寺の和尚さん
- 11) 私は誰でしょう
- 12) グリーグ／子供の歌

4. 「ニグロ・スピリチュアル」

- 13) Oh, Peter, go ringa dem bells
- 14) Keep in the Middle of the Road
- 15) See dat babe in the lowly Manger
- 16) I'm a Baptist

5. 組曲「月光とピエロ」

作詩：堀口大樹 作曲：清水脩

- 17) 月夜
- 18) 秋のピエロ
- 19) ピエロ
- 20) ピエロの嘆き
- 21) 月光とピエロとピエレットの唐草模様

6. アンコール

- 21) ふるさと（作詩：室生犀星 作曲：磯部俣）

宇野義弘先輩(1957卒)がオープンリールから起こされたCDを御提供頂いたもの。
第4回定期演奏会の注釈に記したように、早稲田グリー最古のライブ録音ではないかと推測される。

宇野先輩が簡易インデックスとして添付して下さった旅行しおりによって、下記のことが明らかとなる。

演奏会メンバーは、4年生が27名中5名、3年生が42名中28名、2年生が26名中9名（ちなみに1年生は23名中ゼロ）の参加で合計95名中42名。3年生が中心であり、指揮は当年度学生指揮者の山本健二氏。

この1955年度夏季演奏旅行は、7月30日から8月14日（15日現地解散）で、その間ほぼ毎日の14回公演を行っている。7月30日に東京を出発し、その日のうちに静岡公演を行ったのを皮切りに、岐阜、京都、奈良、大阪、和歌山、姫路、今治、呉、防府、門司、飯塚、福岡、と移動し、最終公演がこの鹿児島であり、何と当日の0:03博多発-8:33鹿児島着の鹿児島本線普通列車で移動の後、14時・18時の2回公演をこなしている。

前述のしおりによれば、「賛助出演 ナシ」とあるから、鹿児島以外の公演では賛助出演もあったことが窺われる。

鹿児島での後援団体を見ると、現地稲門会などの他に南日本新聞社とラジオ南日本が名を連ねており、この関係で当時貴重なオープンリールの記録が残されていたのではないかと、とも推測される。

演目は当時の王道と言って良いものが揃っており、その曲間に肩の凝らないお楽しみステージを挟む構成。前述のしおりには「カルテット、昼、夜」と記されているから、幕間にカルテット演奏をしたことも判明する。

<1956／第4回定期演奏会より>

宇野義弘先輩(1957卒)がオープンリールから起こされたCDを御提供頂いたもの。
前年の鹿児島演奏旅行の録音と共に、早稲田グリー最古のライブ録音ではないかと推測される。というのも、当時の録音機材の事情による。日本での民生用テープレコーダーの発売は東京通信工業(現ソニー)の1951年で、これは重量約20Kgの据置型であり、当時で17万円。当時の大卒初任給が7千円であるから、現代の大卒初任給を18万円とするならば、単純比例で行けば約440万円ということで、そんな機材がそうそう使用出来る状況ではなかったと推測される。1954年にポータブル型がもう少し安い価格で発売されたが、引き続き普及には程遠く、東京通信工業は教育機材としての普及を狙い、各都道府県の主立った小中学校に寄贈するという広報戦略であった。また、民生用といっても、プロ用の発売から1年程度の遅れでしかない。テープレコーダー出現以前は、録音と言えばエポナイト盤にダイレクトカットティングという戦前さながらの、かつ放送局が放送・記録用に行うような、とても気軽とは言えないもの(もしくは映画音声記録のようなフィルムと光学技術を組み合わせたもので、当然家庭で再生出来る筈も無い)であり、付言するならアマチュアの演奏会を録音するという発想があまりなかった時代でもあった。現実に、これ以前の演奏記録があるとすれば、NHKサービスセンターに眠っているであろう戦前・戦後の全日本合唱コンクールのSPダイレクトカット盤くらいしか無いのではなからうか(しかもコンクールは優勝1団体のみ課題曲と自由曲が収録され、2・3位は自由曲のみ、それ以外の団体は記録なし、という関係者の話がある)。これらの背景も含めると、テープレコーダーによるアマチュア演奏録音の黎明期という意味でも大変に貴重な録音が、ここに収録されているのである。なお、この年の経済白書に「もはや戦後ではない」という言葉が記された。

収録曲「かわかます」の三重唱のBass・玉田元康氏はボニー・ジャックスのメンバー。
またアンコール「田舎のバス」は同年度のレパートリーとして、やっと第5回を教えた東西四大学合唱演奏会において伝説を残している。まず1日目(1956/09/15・16)で早稲田グリーのステージアンコールに取り上げられ、満場の爆笑と拍手を誘った上、休憩時間を過ぎても客席が静まらなかった。翌日の公演で早稲田グリーの次に歌う予定であった関西学院グリーは、事態を重く見てアンコール曲目変更を要請してきたという。が、もちろん変更せずに歌われたのであった(笑)。編曲は当時4年生の浅井修三氏。
当時の東西四大学合唱演奏会は、各団の愛唱歌や持ち歌の披露を中心とする各団2ステージと合同演奏の計9ステージという構成であり、現在のような構成になったのは1961年の第10回以降である。

<1959／第6回定期演奏会より>

加藤晴生先輩(1962卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
早稲田グリー初の自主制作レコードであるが、当時の自主制作レコードは当然ながら高価であったから、30cmLPなど望むべくもなく、17cmEP・いわゆる45回転ドーナツ盤であった。そのため収録はわずか4曲であるが、これもまた貴重な演奏記録である。
収録曲のうち「南部牛追い唄」は、レコードのレーベル印刷によると高田三郎作曲「民謡による“北国の歌”」という補足がある。

<早稲田大学グリークラブ 第4回・第6回定期演奏会より>

<第4回定期演奏会より>

1956/12/20, 21 産経ホール
オープンリールテープより

1. 第一部「ミサ第2番 ト短調(男声四部合唱のための)」

作曲: Charles Gounod

- | | | |
|-----------|---------------|--------------|
| 1) Kyrie | 4) Sanctus | |
| 2) Gloria | 5) Bebedictus | 指揮: 磯部 俣 |
| 3) Credo | 6) Agnus Dei | Org.: 鍋木 志保子 |

2. 第二部

- 1) 春の讃歌 (Hymns au Printemps/曲: Camille Saint-Saens/訳詩: 清水 脩)
 - 2) 冬のセレナーデ (Serenade D' Hiver/曲: Camille Saint-Saens/訳詩: 清水 脩)
- 四つのロシヤ農民の歌 (曲: Igor Stravinsky) より
- 3) チギサクのお祭 (On Saints' Days in Chigisakh)
 - 4) オヴセン (Ovsen)
 - 5) かわかます (The Pike) (独唱: Ten. 高橋 生久, Bar. 鈴木 良男, Bas. 玉田 元康)
 - 6) でぶっちょ (Master Portly) (独唱: Ten. 宇野 義弘)

3. アンコール

- 1) Silent Night (独唱: Ten. 宇野 義弘)
- 2) 田舎のバス (編曲: 浅井 修三)
- 3) 遥かな友に (詩・曲: 磯部俣、独唱: 高橋 生久)

<第6回定期演奏会より>

1959/03/05 共立講堂
コロムビア PRE-1024 モノラル

- | | |
|---|------------------|
| 1) 南部牛追い唄 (岩手県南部地方民謡) | 指揮: 磯部 俣 |
| 2) 春の歌 (曲: F. Schubert/訳詩: 山口 隆俊) | 指揮: 磯部 俣 |
| 3) WHAT KIND' A SHOES (黒人霊歌) | 編曲・指揮: D. Larson |
| 4) JOSHUA FIT DE BATTLE OB JERICHO (黒人霊歌) | 編曲・指揮: D. Larson |

<1959／第7回定期演奏会の演目より>

清水實先輩(1963卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードの表題に「親愛なる卒業生諸兄へ」とあり、プライベート盤として作成されていることがわかる。
またレコードジャケットの最後に「この録音は第7回定期演奏会—1959年12月16日<共立講堂>—の開会に
さきだつて収録されたものです。」とあり、演奏会当日のリハーサルを収録したものと推測される。
以下、ジャケットより抜粋、原文まま。

< 8. 春 >

この曲は昭和31年度合唱コンクール男声の部の課題曲「風」を私達が歌うのを聞かれた作曲家高田三郎氏が組曲として早稲田大学グリーククラブの為に作曲して下さったものの第1曲で諧謔的な響きを含んで春の泥地に泡をふいている蟹を面白く歌っています。

< 9. 最上川舟歌 >

民謡独特の素朴なメロディーが力強いリズムにのって、一見単調にみえながら各声部の複雑なかけ合いを繰り返して行くこの曲は校歌と共に早稲田らしさ、早稲田のグリーらしさを表しているものといえるでしょう。昭和34年度コンクールの自由曲として選び、私達としては精一杯の努力を重ねた曲でそれだけに私達には1年間の精魂と思い出をこめたものと思えるのです。全体をつらぬく力強さ、次次次第に高潮して行く緊迫感は男声合唱をするものの幸福をしみじみと味わせてくれるものです。なお結尾7小節は作曲者が私達に合うようにと改作して下さったものです。

<1960年／第8回定期演奏会等より>

清水實先輩(1963卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードジャケットには「早稲田大学グリーククラブ・コンサート<No.3>」とあり、第6回定演を抜粋収録した初の自主制作盤、第7回定演の抜粋盤に続くという意味で、通し番号が<No.3>から始まっている。この<No.3>のレコードジャケットでは演奏曲目以外の情報が乏しく、ジャケットの曲目解説の後に「共立講堂」とあるのが第8回定期演奏会(1960年12月16・17日)からの収録、「キングレコード」とあるのがこの年に収録されたであろう別の市販盤からのカットと推測される。レコード収録の順で行くと、「共立講堂」とあるのは下記の通り。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 校歌「都の西北」 | 7. Couldn't Hear Nobody Pray |
| 2. 雨の来る前 一男声合唱組曲「雨」より一 | 8. Set Down Servant |
| 6. Climbin' Up The Mountain | 9. TOTENVOLK |

以下、ジャケットより抜粋、原文まま。

< 2. 雨の来る前 >

1960年度合唱コンクール課題曲として多田氏が作曲されたものです。

< 3. お月さま >

1960年度第9回東西四大学合唱演奏会を聴かれた多田氏が、私達早稲田大学グリーククラブの表現法に更に叙情性を求めて、そのエチュードとしての意味をこめて私達のために作曲して下さった組曲「北国」の中の第2曲です。

<早稲田大学グリークラブ
第7回・第8回定期演奏会等より>

<1959／第7回定期演奏会の演目より>

<不明 PLP-1018／モノラル>

| | |
|---------------------------------------|----------|
| 1. 校歌「都の西北」 | 指揮：磯部 倅 |
| 2. Christus Factus Est (曲：Palestrina) | 指揮：太田 欽也 |
| 3. O Sacrum Convivium (曲：Viadana) | 指揮：太田 欽也 |
| 4. Wait for the Wagon (編：R. Shaw) | 指揮：太田 欽也 |
| 5. Shenandoah (編：Barthromew) | 指揮：太田 欽也 |
| 6. Ride the Chariot | 指揮：磯部 倅 |
| 7. ふるさと (詩：室生犀星 曲：磯部倅) | 指揮：磯部 倅 |
| 8. 春 一組曲「季節の足跡」より一 (詩：北川冬彦 曲：高田三郎) | 指揮：磯部 倅 |
| 9. 最上川舟歌 (編：清水脩) | 指揮：磯部 倅 |
| 10. White Christmas (編：磯部倅) | 指揮：磯部 倅 |

<1960年／第8回定期演奏会等より>

<キング NB18／モノラル>

| | |
|--|----------|
| 1. 校歌「都の西北」 | 指揮：磯部 倅 |
| 2. 雨の来る前 一男声合唱組曲「雨」より一 (詩：伊藤整 曲：多田武彦) | 指揮：山本 健二 |
| 3. お月さま 一男声合唱組曲「北国」より一 (詩：丸山薫 曲：多田武彦) | 指揮：磯部 倅 |
| 4. 花火 一男声合唱組曲「雪と花火」より一 (詩：北原白秋 曲：多田武彦) | 指揮：長沢 護 |
| 5. 遥かな友に (詩・曲：磯部倅、独唱：藤田昌嗣) | 指揮：磯部 倅 |
| 6. Climbin' Up The Mountain | 指揮：長沢 護 |
| 7. Couldn't Hear Nobody Pray | 指揮：長沢 護 |
| 8. Set Down Servant (独唱：石塚英岳・金井凱史) (P f：寺坂純一) | 指揮：長沢 護 |
| 9. TOTENVOLK (曲：F. Hegar) | 指揮：山本 健二 |
| 10. クラブソング「輝く太陽」 (詩・曲：磯部倅) | 指揮：磯部 倅 |

<1962/第10回定期演奏会等より>

清水實先蔵(1963卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードジャケット表面には「Glee Club Concert No.4」とのみ記載されているが、裏面の解説によると1962年度の演奏記録であることが解る。演奏は大きく3つの演奏会から成る。

慈善演奏会(1962/09/12、共立講堂) 表紙の付番で4、5、7、8
第10回定期演奏会1回目(1962/12/15、共立講堂) 表紙の付番で6
第10回定期演奏会2回目(1962/12/17、東京厚生年金会館) 表紙の付番で1、2、3、9、10、11、12、13

石井敏氏はこの1962年度より早稲田大学グリークラブを作曲・指揮の両面で指導された。

以下、ジャケットより抜粋、原文まま。

<10&11 サンサーンス男声合唱曲集より>

サンサーンスは合唱曲を多く作曲した。この2曲は中でも有名なもので、いずれも合唱曲の楽しさ—特に男声合唱の醍醐味—を存分に駆使し、流暢な転調を頻繁に使い、流麗でニュアンスに富む旋律を劇的構成によりその効果を高めている。Le Matin 詩はフランスロマン派三大詩人のひとりラルティヌのもの。清らかな朝の情景描写から、活気に満ちた朝を讃え、四重唱と合唱の掛け合いで曲を閉じる。言葉と音符が密接なサンサーンスの合唱曲の中でも特にこの曲は代表的なものだが、一方言葉をつけるのが難しいものでもある。Chants D'Automne 前半は、秋の落ち着いた侘しい情景を歌い、後半はトリオに導かれた若き兵士への激励と祖国フランスへの讃歌で、力強く終わる。

<12. 曠野をゆく>

石井敏氏がグリークラブのために作曲されたもの。現代社会に生活する人間を、曠野にさすらう若者に例えた雄大な曲で、このように10分間無伴奏で演奏される曲は少ない。曲は4つの構成部分からなる。冒頭ベースパートがテーマを歌い、その旋律が曲中しばしば表れてくる。

なお、早稲田グリーはこの年から合唱コンクール不参加となった。夏-秋の練習をコンクールに振り向けず、定期演奏会へ全エネルギーを集中させることとしたためである。

<早稲田大学グリークラブ 第10回定期演奏会等より>

キング NB18/モノラル

| | |
|---|----------|
| 1. 校歌「都の西北」 | 指揮：加藤 治信 |
| 2. Kyrie—「Missa O Magnum Mysterium」より | |
| 3. Gloria—同上(曲：Victoria) | 指揮：加藤 治信 |
| 4. A Roving—Sea Chantyより(独唱：小坂隆三) | 指揮：加藤 治信 |
| 5. Steal Away To Jesus—Negro Spiritualsより (独唱：大古殿宗三) | 指揮：加藤 治信 |
| 6. Stäntchen(小夜曲、曲：F.Schubert) | 指揮：山本 健二 |
| (独唱：遠藤美加子 Pf：村主一彦) | |
| 7. かきつばた—男声合唱組曲「柳川風俗詩」より— (詩：北原白秋 曲：多田武彦) | 指揮：加藤 治信 |
| 8. 梅雨の晴れ間—同上 | 指揮：加藤 治信 |
| 9. レズギンカ(コーカサスの祈りと踊り 編：石丸寛) | 指揮：加藤 治信 |
| 10. Le Matin(朝)—「サンサーンス男声合唱曲集」より | 指揮：石井 敏 |
| 11. Chants D'Automne(秋のうた)—同上 (独唱：石島義弘、大古殿宗三、金井凱史) | 指揮：石井 敏 |
| 12. 曠野をゆく—委嘱曲(詩：梶良郎 曲：石井敏) | 指揮：石井 敏 |
| 13. 遙かな友に(詩・曲：磯部俣、独唱：石島義弘) | 指揮：加藤 治信 |

<早稲田大学グリークラブ 第11回定期演奏会等より>

東芝LR-26/モノラル・演奏会ライブ抜粋盤

指揮：岩本 孝嗣

1. 校歌「都の西北」

2. 「シューマン男声合唱曲集」

- 1) Die Lotosblume はすの花 (詩：H.Heine)
- 2) Die Minnesänger うたびと (詩：H.Heine)
- 3) Freiheitslied 自由の歌 (詩：F.Rückert)

作曲：Robert Alexander Schumann
指揮：岩本 孝嗣

3. 「Negro Spirituals」

- 1) There is a balm in Gilead (Ten:石島 義弘)
- 2) This ol' hammer (Bar.山際 得悦, Ten:貝塚 文一郎)

指揮：岩本 孝嗣

4. 「スペインの歌」

- 1) Cordoba
- 2) Granada
- 3) Serenata
- 4) Malaguena

編曲：石丸 寛
指揮：岩本 孝嗣
P f：渡辺 厚
建部 佳世

5. 男声合唱とピアノのための「三つの時刻(とき)」一日集(委嘱初演)

- 1) 薔薇よ (一日集 朝暁章より)
- 2) 午後 (一日集 夕映章より)
- 3) 松よ (一日集 忌日章より)

作詩：丸山 薫
作曲：三善 晃
指揮：石丸 寛
P f：渡辺 厚

6. 男声合唱組曲「月光とピエロ」

- 1) 月夜
- 2) 秋のピエロ
- 3) ピエロ
- 4) ピエロの嘆き
- 5) 月光とピエロとピエレットの唐草模様

作詩：堀口 大學
作曲：清水 脩
指揮：岩本 孝嗣

そうらん節(編：多田武彦) (Ten:吉村 誠)

てんさぐの花

遙かな友に (Ten:石島 義弘)

指揮：岩本 孝嗣

日和佐省一先輩(1971卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードジャケット表面に「GLEE CLUB CONCERT No. 5」と記載されており、演奏曲目や学生指揮者が岩本孝嗣氏であることから、1963年度の演奏記録と判る。

この年、早稲田グリーは初の国外演奏旅行を行った。国連駐留軍=米軍統治下の沖縄である。また、定演直前には韓国演奏旅行の計画もあったそうだが、某大物政治家の無責任な発言が政治問題となり、ビザ発給停止/幻の演奏旅行となってしまった、とのことである。

このレコードに収録された演目のうち、「月光とピエロ」は、夏季演奏旅行(1963/07/27-08/11)と、それに引き続いての沖縄演奏旅行(1963/08/14-18)の演目であり、それ以外は第11回定期演奏会のライブ録音である。

<第11回定期演奏会の演目/ステージ順> 1963/12/07, 08 東京厚生年金会館大ホール

シューマン男声合唱曲集

Negro Spirituals

三つの時刻

人間家族(詩：寺山修二、曲：石井欽)・・・残念ながら録音が存在しない

スペインの歌

「シューマン男声合唱曲集」は、同年の第12回東西四大学合唱演奏会(1963/06/23 東京文化会館大ホール)において三石精一氏の指揮で演奏されたものの抜粋での再演。

「三つの時刻」、「人間家族」とも、当時新進気鋭の作曲家・詩人を採り上げようとしたもので、この選択は賞賛に値する。

「三つの時刻」は、前年に日本女子大学合唱団第7回定演(1962/05/31 共立講堂)において委嘱初演された「三つの抒情」の弟分とも言うべき小品。この初演の後、ピアノ譜を紛失したことから演奏不可能となり、再演されたのは23年後、このライブ録音からピアノパートを採譜・復元させた法政大学アリオホールによって(第36回定演 1986/12/06 郵便貯金ホール)である。それ以降、法政アリオも「復刻版委嘱作品」として自団の委嘱作品リストに加えているなど、早稲田グリーとしては面目丸つぶれである。が、仕方ない。ついでに情けない(苦笑)

「スペインの歌」は石丸寛氏書き下ろしの編曲。同年の第12回東京六大学合唱連盟定期演奏会(1963/06/01,02 東京文化会館大ホール)において石丸寛氏の指揮で演奏されたものの再演。

2曲目「Granada」の録音はレコードに収録されていないが、清水實先輩(1963卒)所蔵のオープンリールに収録されていることが判明し、これを早稲田グリーOB会が復刻させCDを制作したので、このCDからそのまま収録した。

＜早稲田大学グリークラブ 第12回定期演奏会等より＞

キング NA-19/モノラル・演奏会ライブ抜粋盤

1. 校歌「都の西北」

指揮：工藤 悠一郎

2. GLEEより

- 1) The Bells In The Steeple (曲：Giuseppe Sammartini)
- 2) Punch, An Emblem Of The Medium Of Life (曲：Thomas Arne)

指揮：工藤 悠一郎

3. 男声合唱組曲「富士山」より「作品第肆」

作詩：草野 心平
作曲：多田 武彦
指揮：工藤 悠一郎

4. アメリカ民謡集

- 1) Lolly-too-dum
- 2) Blue Shadows On The Trail
- 3) The Sporting Bachelors
- 4) All The Pretty Little Horses
- 5) John Brown's Body

編曲・指揮：石丸 寛
Clavietta：佐藤 圭男

5. 東北地方の民謡による「七つの無伴奏男声合唱曲」(委嘱初演)

- 1) そんでこや
- 2) おどのもり
- 3) 耳が三寸
- 4) あんづきまんまさ
- 5) 雀ど雀ど
- 6) ホーハイ節
- 7) 遊び歌

作曲：小倉 朗
指揮：荒谷 俊治

6. ロバートショウ合唱曲集

- 1) Grandfather's Clock
- 2) Ring De Banjo

編曲：R. Shaw & A. Parker
指揮：工藤 悠一郎

7. コダイ合唱曲集(邦訳による)

- 1) 孔雀 (訳詩：清水 脩)
- 2) カラード地方の唄 (訳詩：徳永 康元)

作曲：Kodaly Zoltan
指揮：石丸 寛

8. 遙かな友に

作詩・作曲：磯部 俣
指揮：工藤 悠一郎

鈴木絃輝先輩(1966卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。約40年前のレコードであるにもかかわらず盤面は無傷で、またスクラッチノイズもほとんど無いという完璧な保存状態である。

レコードジャケット表面には「Glee Club Concert No.6」と記載されており、演奏曲目や学生指揮者が工藤悠一郎氏であることから、1964年度の演奏記録と判る。

1964年、第12回定期演奏会の曲目は以下の通り。

1964/12/11, 12 東京厚生年金会館大ホール

第1ステージ：Five Glees

第2ステージ：Negro Spirituals

第3ステージ：東北地方の民謡による「七つの無伴奏男声合唱曲」

第4ステージ：コダイ合唱曲集(邦訳による)

第5ステージ：アメリカ民謡集(石丸寛編曲)

同時にお借りした演奏会プログラムの名簿によると、T1=45, T2=48, B1=47, B2=38 計178名となっている。

この年は、第13回東京六大学合唱連盟定期演奏会(1964/05/31, 06/01 東京文化会館大ホール)において「アメリカ民謡集」を、また第13回東西四大学合唱演奏会(1964/06/13, 14 神戸国際会館, 大阪フェスティバルホール)において「コダイ合唱曲集(邦訳による)」を演奏しており、定期演奏会でその再演をしている。また、本レコードに収録された「ロバートショウ合唱曲集」と「富士山」については、以下の演奏会等で取り上げている。

「ロバートショウ合唱曲集」：第14回送別演奏会(1964/02/29, 東京厚生年金会館大ホール)
春季演奏旅行(1964/03/07-17)

「富士山」：夏季演奏旅行、第3回慈善演奏会(1964/10/06, 東京厚生年金会館大ホール)

なお、当時は“Kodaly”を「コダイ」とする表記が多く、またそれを以って推して知るべし、だが、コダイに限らず、欧州の作品は邦訳での演奏が多かった。

＜早稲田大学グリークラブ 第13回定期演奏会より＞

1965/12/12,13 東京厚生年金会館大ホール
キング NA-28/モノラル・演奏会ライブ抜粋盤

1. 校歌「都の西北」

指揮：阿部 良行

2. 「五つの学生の歌」

- | | |
|----------|---------|
| 1) かちどき | 4) 高原にて |
| 2) 雨の日曜日 | 5) 門出 |
| 3) 間奏曲 | |

作詩：武川 寛海
作曲・指揮：石井 敏

3. ロシア現代合唱曲集

- 百合
(詩：マッシュャーリ/曲：ソロドゥーホ)
- 太陽が沈み、丘は暮れる
(詩：シェフチェンコ/曲：イコンニカ)

編曲：菊地 雅春、石井 敏
指揮：阿部 良行

4. Sea Chanty Series

- Erie Canal (Ten独唱：竹内 奏彦)
- The Golden Vanity
- Sailing, Sailing (Bari独唱：鈴木 秀夫)

編曲：荒谷 俊治
指揮：阿部 良行
Clavietta：佐藤 圭男

5. 「枯木と太陽の歌」

- 枯木はひとりて歌う
- 花と太陽の会話 (Ten独唱：有田 直之)
- 冬の夜の木枯の合唱
- 枯木は太陽に祈る

作詩：中田 浩一郎
作曲・指揮：石井 敏
Pf：南院 紀子、新沼 康博

6. アンコール

遙かな友に (Ten独唱：田中 勝利)

作詩・作曲：磯部 椒
指揮：阿部 良行

放送初演「五つの学生の歌」

オープンリールテープより（2曲目、3'20付近で欠損あり）

- | | |
|----------|---------|
| 1) かちどき | 4) 高原にて |
| 2) 雨の日曜日 | 5) 門出 |
| 3) 間奏曲 | |

作詩：武川 寛海
作曲・指揮：石井 敏
東京混声合唱団男声部、
早稲田大学グリークラブ

鈴木絢輝先輩(1966卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。約40年前のレコードであるにもかかわらず盤面は無傷で、またスクラッチノイズもほとんど無いという完璧な保存状態である。レコードジャケット表面には「Glee Club Concert No.7」と記載されているが、これまでのシリーズとは異なり、ジャケット裏面に「第13回定期演奏会より」と明記され、定期演奏会のライブ録音のみが収録されている。同時にお借りした演奏会プログラムの名簿によると、T1=43, T2=40, B1=41, B2=36 計160名となっている。

この年は、第14回東京六大学合唱連盟定期演奏会(1965/06/06 東京文化会館大ホール)において「Sea Chanty Series」を、また第14回東西四大学合唱演奏会(1965/06/19,20 東京文化会館大ホール)において「枯木と太陽の歌」を演奏しており、定期演奏会でその再演をしている。

「五つの学生の歌」は第20回芸術祭に参加し奨励賞を受賞した作品。このCDの最後に収録した音源が放送初演で、東京混声合唱団男声部及び早稲田グリーの合唱・作曲家自身の指揮により1965年11月20日に収録/翌日21日にTBSラジオより放送されたものを、清水實先輩(1963卒)がオープンリールで録音・保存しておられ、最近CD化されたものを収録することが出来た(残念ながら2曲目に一部欠損あり)。放送初演の半月後、早稲田グリー第13回定期演奏会の第1ステージで再演・舞台初演された。

以下、演奏会プログラムより抜粋、原文まま。

＜「五つの学生の歌」＞ (作詩者 武川 寛海氏の寄稿)

いまから三十数年前は、私もコーラスをやっていた。男声合唱である。バスを歌っていた。面白くて面白くてたまらなくて、夜の練習に自由に出られるようにと、寄宿舎をやめて友人と合宿みたいなものをやったりした。

そのころはしかし男声合唱用の曲はまことに少なかった。緑色の表紙の「リーダー・シャッツ」が、それこそ本当に宝であり、手垢で真黒になったものを大切に持ち寄ったものである。しかし何分にも歌詞は恐るべきドイツ語であり、そのくせ一曲一曲は余りにも短いのである。そうでないものが欲しいと思ったことである。

それを今度作ってみろ、という機会を与えられたのである。感謝した。ああしかし如何せん。三十数年の間に私は年を取っていたのである。若人の若さが、現代の若人のそれが充分に出ていないであろうことを大変に気にかけている次第である。気のついたことがあったら教えていただきたい。こうすれば若人らしさが出る、ということ。機会があればこういうものをもっともっと作ってみたいと思っているからである。

なお、この昭和40年度というのは世情としては波乱の年であり、いわゆるベトナム北爆なども開始され、不景気で就職活動も厳しかった、との由である。早稲田大学自体も、学費値上げ反対と第2学生会館自治権闘争で大学側と学生との対立が先鋭化し、ついに機動隊導入・学生大量逮捕、卒業試験のレポートへの切り替え、そして卒業式中止という事態になった。その影響で、この年度の第16回早稲田グリー送別演奏会も中止となり、昭和40度卒団生のために改めて送別「妄想会」が開かれたのは、30年後の1995年10月22日のことであった。

日和佐省一先輩(1971卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードジャケット表面に「WASEDA UNIVERSITY GLEE CLUB REGULAR CONCERT No.8」、裏面に「第14回定期演奏会より」とのタイトルがある。以下、ジャケットより抜粋、文章は原文まま。

< 2. 男声合唱による「日本の唄」> 解説より抜粋

網起し音頭：この曲のもとになったものは、北海道のニシン取りのときの作業歌である。

刘干切唄：この曲のもとになったものは、宮崎県の高千穂町地方で秋になって萱を刈り取るときに歌われる作業歌である。

木曾節：この曲は皆さんご存知の木曾節のもとにしたものであるが、まったく新たに作曲されたものになっている。西筑摩郡福島町を中心とする木曾谷一帯の盆踊歌である。

< 3. 草野心平作詩「富士山」による五つの男声合唱> 解説より抜粋(入野義朗氏のことは)

石井(敏)君から今年の早稲田のコーラスの演奏会に曲を書かないか、という誘いを受けた。私は合唱曲をそう沢山書いているわけではないけれども、簡単に引き受けてしまった。それは前にやはり石井君にたのまれて東京男声合唱団のためにかいた曲が、割にうまく行ったし、十二音的な音程を実によくうたってくれたから、という記憶も手伝っていたように思う。

(中略)さて、「富士山」という題材は日本人にとって非常に親しみ深いし、ある意味では日本人の心の象徴のような意味を持っているが、それだけに、こんなに難しい素材もないと思う。富士山にむかって我々が何を感じ、何を考えるか、という事には無限のヴァリエーションを含むと共に、その底に誰でもが持つ共通のものがあるように思う。

草野さんの「富士山」連詩の中にはそうしたものが様々に変容しながら力強く語られているし、戦後の日本人が失った気持のあるもの、そして失ってほしくなかったものが感じられる。これをアカペラの男声合唱でどういう風に表現してしようか、というのが私の関心の中心となった。

< 4. 「メキシコの歌」>

Adelita：「アデリータよ、私が戦いに死んでも泣かないでくれ」と恋人を慕うと同時に祖国のためには死をも恐れぬ情熱が溢れています。2拍子に乗った軽快な曲で踊る曲としても知られています。

A la Orilla～：やしの木陰で一人寂しく暮すみなし子の娘が自分の心をしみじみと語りかけるゆっくりとした美しい曲。

< 5. 「CONCENTO DI VOCI」より>

(前略)彼の音楽の基調は、音楽、言語、動作(とくに舞踏的要素)という3つの基本的要素の完全な統合を目指すことにあり、それによってできあがるドラマは、いわば《世界》の投影であるとして、みずから《世界劇》を呼んでいる。(中略)この曲においても上に述べたような彼の音楽の特徴が非常に良く現れている。またここに歌われている世界の終焉に向う全ての運命とそれに対する恐怖からの開放を求める祈りは、彼のいうギリシャ古典劇の伝統をひくと考えられる《世界劇》という思想に一脈通じるものがある様に思われる。

<早稲田大学グリークラブ 第14回定期演奏会より>

1966/12/03 渋谷公会堂
/04 東京厚生年金会館大ホール
キングNAS-20/ステレオ・演奏会ライブ抜粋盤

1. 校歌「都の西北」

指揮：丸山 美雄

2. 男声合唱による「日本の唄」

- 1) 網起し音頭
- 2) 刘干切唄
- 3) 木曾節

作曲：石井 敏
指揮：丸山 美雄

3. 草野心平作詩「富士山」による五つの男声合唱(委嘱初演)

- 1) 作品第陸 [いちめん重い]
- 2) 作品第老 [麓には]
- 3) 作品第捌、作品第拾
- 4) 作品第拾陸 [牛久のはてに]
- 5) 作品第伍 [火の山の]

作詩：草野 心平
作曲：入野 義朗
指揮：石井 敏

4. 「メキシコの歌」

- 1) Adelita (いとしのアデリータ)
- 2) A la Orilla de un Parmar (やしの木陰で)

編曲：石丸 寛
指揮：丸山 美雄
Pf：橋本 正暢

5. 「CONCENTO DI VOCI」より

Sunt Lacrimae Rerum

作曲：Carl Orff
指揮：石井 敏

6. Negro Spirituals

- 1) Ev'ry Time I Feel The Spirits
- 2) Ezekiel Saw The Wheel
- 3) Ain-A That Good News
- 4) Soon-ah Will Be Done

編曲：William L. Dawson
指揮：丸山 美雄

＜早稲田大学グリークラブ 第15回記念定期演奏会より＞

1967/12/10 東京厚生年金会館大ホール
トラヤ／一部モノラル・演奏会ライブ抜粋盤

日和佐省一先輩(1971卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。

レコードのライナーノーツに「早稲田大学グリークラブコンサート No. 9／第15回定期演奏会記念」と記されている。

このようにナンバーリングされたレコードは、第8回定期演奏会を中心とする1960年の演奏を収録した「No. 3」から始まり、この「No. 9」で終わる。翌1968年の第16回定期演奏会はレコードが制作されず、翌々年の第17回定期演奏会からはナンバーリングの無い「定期演奏会ライブレコード」となる。

また、1962年より継続して来た石井欽氏による指揮・指導は、この年度で終了となる。

演奏会プログラムの名簿によるとT1=40, T2=47, B1=40, B2=33 計160名となっている。

・・・このレコードを制作した「世田谷・トラヤ」は、恐らくアマチュア向けカスタムレコードの専門業者であろう。

レコードの厚みが均一でない／センターホールがレコード中心からズレている／レコード辺縁部の処理から見てもSPレコード用カッティング&プレスマシンを流用したとしか思われない制作環境、等のあまりに素人工場的な仕上がりに起因するワウ・フラッター&トレーシングノイズが相当発生している。加えて「ステレオ録音」と記しながら「蛙の歌」はモノラル収録だったり（これは学生側のコスト負担の限界に起因したことであるかも知れない）、挙句にはジャケットに記された収録曲目がレコードには収録されていないか曲順が異なるなど、制作レベルが低い。

また、鈴木絃輝先輩(1966卒)所蔵の貴重な演奏会プログラムと、プログラムに添付されたフォノシートという驚くべき音源をお借りし、収録することが出来た。演奏会プログラムには、「第15回定期演奏会を記念して、フォノシートを入れることを試みました。慣れないために若干の不備もありましようが定期演奏会の後までもお聴き願えれば幸いです。」(原文まま)とある。

アテネレコード工業株式会社製とあるフォノシートは、鈴木先輩の几帳面な性格を反映してか、この他にお借りした第12・13回定期演奏会のレコードと同様、完璧と言って良い保存状態であり、傷も全く無かった。現代では絶滅した半透明で極薄のソノシートだが、音質はトラヤ製レコードより良いかも知れない(笑)。

1. 校歌「都の西北」

Londonderry air

編曲：石丸 寛
指揮：木村 徹
Harp：松岡 明美

3. 組曲「蛙の歌」

作詩：草野 心平 作曲：南 弘明

- 1) 小曲
- 2) 鰻と蛙
- 3) 蛇祭り行進

指揮：木村 徹

4. 「シューベルト男声合唱曲集」

作曲：Franz Schubert

Dessen Fahne Donnerstürme Wallte (かの旗は風をまき起す)

指揮：石井 欽
Pf：萩原 照彦

5. 「智恵子抄」より

作詩：高村 光太郎 作曲：清水 脩

- 1) 卷末の歌六首
- 2) 或る夜のころ

指揮：山本 健二
Pf：萩原 照彦

演奏会プログラム付属フォノシートより

- 1) 早稲田大学校歌
- 2) 刘干切唄 (第14回定期演奏会／男声合唱による「日本の唄」より)
- 3) 雨の日曜日 (第13回定期演奏会／「五つの学生の歌」より)

<早稲田大学グリークラブ 第16回定期演奏会より>

オープンリールとして残されていた音源を当時のメンバーがCD化したもの。
この音源の入手に際しまして、日和佐省一先輩(1971卒)に多大なご尽力を頂きました。
この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

この第16回定期演奏会を含む1968年度は、大学紛争の最たる時期であり(有名な東京大学安田講堂陥落は1969年1月19日である)、その影響か、早稲田グリーとしても過去と一線を画する試みを多々行なうとされる。

第一に、常任指揮者として濱田徳昭氏を迎えたことがある。この第16回定期演奏会では「客演」の形を取ってはいるが、実はこの客演受諾の条件が濱田氏を「常任指揮者」に据える事であった。このことについては「学生の主体性を重視」という早稲田グリーの路線に反することから、白熱した議論があったということである。この後、濱田氏は1972年度半ばまで常任指揮者を務めるのである。

第二に、16年もの永きにわたりヴォイストレーナーをしてこられた城須美子氏をこの年度で解任したことがある。城氏が在任中の早稲田グリーは、特にテノールの発声について極めて評価が高かったとのことであるが、当時「どん底」と自認していた早稲田グリーとしては、新機軸を必要としていたのであろう。城氏の後任として田島好一氏、翌年度からは金谷良三氏が就任する。

第三に、演奏表現技術にを磨くため、「レクチャー」として多田武彦氏を招いたことである。この縁により、この第16回定期演奏会において「北斗の海」初演の機会を得、また多田氏の手による「五つのピュラーソング」(現在では「アカシヤの径」のみが歌い継がれているが)のプレゼントを受けたりしている。

このCDに収録した演奏のうち、「ドイツ合唱曲集」については第17回東京六大学合唱連盟定期演奏会において演奏されたものの再演である。

演奏会プログラムの名簿によると、T1=33, T2=37, B1=33, B2=21 計124名となっており、ベースのみが陥没している。

1968/12/07 渋谷公会堂
/08 東京厚生年金会館大ホール
オープンリールより

1. 校歌「都の西北」

指揮：土屋 信吾

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：土屋 信吾

3. 男声合唱組曲「月光とピエロ」

作詩：堀口 大樹 作曲：清水 脩

- 1) 月夜
- 2) 秋のピエロ
- 3) ピエロ
- 4) ピエロの嘆き
- 5) 月光とピエロとピエレットの唐草模様

指揮：土屋 信吾

4. 「ドイツ合唱曲集」

- 1) Der König in Thule トゥーレの王 (詩:J.W.ゲーテ/曲:ヴェンツェル・フアイト)
- 2) Schlafwandel 幻を追いて (詩:G.ゲーテ/曲:フリードリヒ・ヘーガー)
- 3) Gothen treue ゴートの兵士 (詩:F.ゲーゲン/曲:ハスリグナー)

指揮：山本 健二

5. 男声合唱組曲「北斗の海」(初演)

(冒頭に欠損あり)

作詩：草野 心平 作曲：多田 武彦

- 1) Bering-fantasy
- 2) 窓 (独唱：玉川 哲郎)
- 3) 風景
- 4) エリモ岬

指揮：土屋 信吾

3. 「MESSE SOLENNELLE」

作曲：Albert Duhaupas

- 1) Kyrie
- 2) Gloria
- 3) Credo
- 4) Sanctus
- 5) Agnus Dei

指揮：濱田 徳昭

7. アンコール

山へのいざない

作詩/作曲/指揮：濱田 徳昭

<早稲田大学グリークラブ 第17回定期演奏会より>

1969/12/07 東京厚生年金会館大ホール
キングNAS-95/ステレオ・演奏会ライブ抜粋盤

日と佐省一先輩(1971卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
収録に関し、マイクのセッティングが合唱に近過ぎるようである。

第1ステージでは、第18回東西四大学合唱演奏会(1969/06/22 東京文化会館大ホール)でも演奏された、邦訳によるコダーイ合唱曲集の再演。定演当日は、ここに収録された「兵士の歌」の他、「ひとりもの」「孔雀」も演奏された。レコードジャケットに「一昨年(1967年)の3月6日、ハンガリー国民が大きな尊敬の念を抱いている作曲家ゾルターン・コダーイ Zoltán Kodály(1882-1967)が亡くなった」とある。早稲田としても大学男声合唱界としても、外国曲を邦訳で歌うのは、この頃から激減し、一方で慶應などによるコダーイ・シベリウス等の原語演奏が盛んになって来る。

第2ステージ「子供の国」に関し、レコードジャケットにある平吉氏の言葉には、「この曲は、もう十数年前、関西学院グリークラブによって初演されたものです。最初に指揮の石田さんからお話があった時、もう随分と昔の、私の学生時代の作品ですので、今更どうかな、とかなり照れくさかったので、まあ、とにかく楽譜を持って行ってもらって、みなさんと相談の上、演奏して下さるなら、・・・・ということ、今回、部分的に手直しをさせてもらって、うたって戴くことになりました(原文まま)」とある。

第3ステージは、この時期に常任指揮者であった故・濱田徳昭氏の嗜好によって、「バード/三声のミサ」を演奏している。ルネサンス・ポリフォニー合唱音楽の影響を受けた16-17世紀のイギリスにおける天才的作曲家、W. バードの典礼ミサの中でも、もっともシンプルであり、それ故に難曲でもある。通常は各声部一人か、少人数の合唱団によるが、このステージでは、90名という大人数の演奏となっている。

第4ステージ、独唱の橋本浩樹氏は、当時3年生。

1. 校歌「都の西北」 指揮：石田 幸夫
2. クラブソング「輝く太陽」 指揮：石田 幸夫

3. 「コダーイ合唱曲集」より (邦訳による)
作曲：Kodaly Zoltan 指揮：濱田 徳昭
兵士の歌

4. 「子供の国」
作曲：平吉 毅州 指揮：石田 幸夫
1) 白熊仔熊(詩：サトー・ハチロー)
2) 雪女(詩：北原 白秋)
3) ちひさなちひさな水車(詩：サトー・ハチロー)
4) 子守歌(詩：葛葉 国子)
5) サヨリ(詩：北原 白秋)

5. 「MASS FOR 3 VOICES」
作曲：William Byrd 指揮：濱田 徳昭
1) Kyrie 4) Sanctus
2) Gloria 5) Bebedictus
3) Credo 6) Agnus Dei

6. 「枯木と太陽の歌」
作詩：中田 浩一郎 作曲：石井 敏 指揮：石田 幸夫
1) 枯木は独りで歌う P f : 白井 典子
2) 花と太陽の会話 独唱：橋本 浩樹
3) 冬の夜の木枯しの合唱
4) 枯木は太陽に祈る

7. アンコール
遙かな友に 指揮：石田 幸夫
独唱：斉藤 利美

日と佐省一先輩(1971卒)所蔵のレコード及びパンフレットによって、この演奏会の全体が判明した。

第1ステージでは、実際には下記の曲順で全5曲が演奏されている。

- 1) Deep River (編曲: H. T. Burleigh)
- 2) Nobody knows de trouble I See (編曲: Leonard de Paur、伝説のデ・ポーア合唱団の指揮者)
- 3) This Ol' Hammer (編曲: 福永 陽一郎)
- 4) Soon-Ah will be done (編曲: William L. Dawson)
- 5) Everytime I feel the Spirit (編曲: William L. Dawson)

第2ステージの男声合唱組曲「中原中也の詩から」は、関西学院グリークラブによる委嘱作品で、北村協一氏の指揮の下、第4回同関交歓演奏会(1967/06/18 大阪フェスティバルホール)において初演された。この録音の存在は不明。一週間後の第16回 東西四大学合唱演奏会(1967/06/25 東京文化会館大ホール)で再演されたが、その時の録音はレコード収録時間の都合から抜粋となっていて、

- 2) 汚れちまった悲しみに
- 4) 雲雀
- 5) 六月の雨
- 6) 月の光

の4曲しか残されていない。

初演後に、3曲目「朝鮮女」が「間奏曲」に差し替え改訂されており、ここに収録した「朝鮮女」は極めて貴重な音源と言えよう。実際、同様に「発禁」となった男声合唱組曲「雨」の「十一月にふる雨」が現在でもごく稀ながら演奏されるのに比して、この「朝鮮女」は国際問題を含むからか、演奏したという話を聞かない。

第3ステージではフランツ・リストの「ミサ・ハ短調」を採り上げている。

大学男声におけるリストの作品の演奏履歴は、把握している限りでは、この「ミサ・ハ短調」を第11回 東西四大学合唱演奏会(1962)にて同志社グリークラブ、及び第29回 東西四大学合唱演奏会(1980/06/22 大阪フェスティバルホール)にて四校合同、その他「Requiem」を関西学院グリークラブが第55回リサイタル(1987/02/01 大阪フェスティバルホール)で本邦初演している位しか知らないが、それほどに演奏の機会が少ない。

これは、超絶技巧と華やかさで知られるピアノ・管弦楽の諸作品に比べ、声楽諸作品はどちらかといえば晩年の宗教家としての作品が多く、印象として地味であることが理由であろう。この演奏会で採り上げた「Missa C-Moll」は、1848年、リスト37歳の時に作曲され、21年後に改作されている作品で、時期的には上記「Requiem」と異なり、「ハンガリー狂詩曲」や「愛の夢」といった作品を創作した時期に含まれるとのことで、新ロマン主義の旗手、H. ベルリオーズの影響を残した、言わば「動的」な作品である。なお、独唱は豪華キャストのプロ歌手陣。

最後に収録した「遙かな友に」は、早稲田大学グリークラブにて所蔵していたオープンリールからの文字通り復刻で、レコードに収録されていなかった音源。モノラル録音なのでレコード用マスターではなく団のプライベート録音のようである。音質もかなり劣化していたので、ある程度のイコライジング処理を行った。

＜早稲田大学グリークラブ 第18回定期演奏会より＞

1970/12/06 東京厚生年金会館大ホール
キングNAS-217/ライブ抜粋盤

1. 「Negro Spirituals」

- 1) Nobody knows de trouble I See (独唱: 石坂 廬)
- 2) This Ol' Hammer (独唱: 鈴木 孝)
- 3) Soon-Ah will be done

指揮: 小林 祥郎

2. 男声合唱組曲「中原中也の詩から」

作詩: 中原 中也 作曲: 多田 武彦

- 1) 北の海 (独唱: 森 輝男)
- 2) 汚れちまった悲しみに
- 3) 朝鮮女
- 4) 雲雀
- 5) 六月の雨 (独唱: 橋本 浩樹)
- 6) 月の光

指揮: 小林 祥郎

3. 「Missa C-Moll」

作曲: F. Liszt

- 1) Kyrie
- 2) Gloria
- 3) Credo
- 4) Sanctus
- 5) Post Elevation
- 6) Agnus Dei

指揮: 濱田 徳昭

Org.: 酒井 多賀志

独唱: Ten. 金谷 良三, Ten. 篠崎 義昭

Bar. 田島 好一, Bas. 鈴木 義弘

4. アンコール「遙かな友に」

(独唱: 橋本 浩樹)

(早稲田大学グリークラブ所蔵のオープンリールテープより復刻/モノラル)

<早稲田大学グリークラブ 第19回定期演奏会より>

早稲田大学グリークラブ所蔵のオープンリールテープによる

1971/12/05 東京厚生年金会館大ホール

早稲田大学グリークラブ事務所に保管されていたオープンリールテープをデジタル化したもの。
残念ながら当日第3ステージの「Requiem」のテープは不明である。

このCDでは一部割愛したが、演奏会開始のほぼ10分前から録音が始まされており、本番直前の緊張した空気を再現することが出来、またレコードでは割愛されている校歌とクラブソングを収録することが出来た。

このオープンリールは、レコード制作の原音とされたテープのオフィシャルコピーとみて間違いないが、30年前のものゆえ、テープそのものの伸びやたるみの影響（いわゆるワカメ現象）の影響で、右チャンネルの音像が不鮮明であったり少々歪みも発生している。
しかしながら、レコードの方を一聴すれば解ると思うが、レコードの残響はどう聴いても電氣的なリバーブであり、強い音ではエコー（こだま）になってしまっているなど、極めて不自然であることから、オープンリールをベースとした音源もデジタル化して残すこととした。

0. (場内開演前アナウンス)

1. 校歌「都の西北」

指揮：岡本 俊久

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：岡本 俊久

3. 男声合唱組曲「北斗の海」

作詩：草野 心平 作曲：多田 武彦

- 1) Bering-fantasy
- 2) 窓
- 3) 風景
- 4) エリモ岬

指揮：岡本 俊久

4. 革命詩人の詩による「十の詩曲」より「六つの男声合唱曲」

作曲：D. Shostakovitch 編曲：福永 陽一郎 訳詩：安田 二郎

- 1) 雄々しく進もう
- 2) 果てなき荒野
- 3) 死刑の戦士
- 4) 怒りの日
- 5) 鎮魂歌
- 6) 歌

指揮：岡本 俊久

＜早稲田大学グリークラブ 第19回定期演奏会より＞

1971/12/05 東京厚生年金会館大ホール
SOUND CREATORS INC SCI-1018/ライブ抜粋盤

日和佐省一先輩(1971卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。

このレコードの制作者の独断なのか、誰かが制作者に指示したのかは不明だが、電気的な処理によって残響を作り出しているため、強いインパクトの音ではこだまが返るほどの残響があったり、sの子音が異様に響いたり、不自然な録音となってしまう。このような電気的処理による残響=リバーブは、現在ではデジタル遅延補正によって違和感の無い残響を作り出すことが可能だが、当時はアナログの電気回路で作り出すしかなかった為、ホールの設計残響や収録機器に合わせた事後調整は相応のプロ技師でしか出来なかった。

第1ステージ「北斗の海」は、第16回定期演奏会(1968/12/07&10)に委嘱初演したものの再演。4曲目に「海」を加えた5曲構成による改訂版の初演も早稲田グリーで、第26回東西四大学合唱演奏会(1977/07/26)において演奏されている。

第2ステージは、通称「十の詩曲」と呼ばれる福永陽一郎氏渾身の編曲で、合唱団に相当な無理を強いる難曲である。絶対的に強い声を持つ合唱団でなければ歌い通せないこの曲は、第14回東西四大学合唱演奏会(1965)に同志社グリークラブによって初演された。その後今日に至るまで、この曲を取り上げた団体が数えるほどしかない中、早稲田グリーは単独演奏で4回、合同演奏で3回と、実に7回も歌っている(2002年3月現在、抜粋演奏含む)。

第3ステージは「Requiem」は、数少ないオーケストラ付き男声オリジナル大曲である。早稲田グリーとしてはその後、第33回定期演奏会(1985)にもピアノ連弾版で演奏している。

1. 男声合唱組曲「北斗の海」

作詩：草野 心平 作曲：多田 武彦

- 1) Bering-fantasy
- 2) 窓
- 3) 風景
- 4) エリモ岬

指揮：岡本 俊久

2. 革命詩人の詩による「十の詩曲」より「六つの男声合唱曲」

作曲：D. Shostakovitch 編曲：福永 陽一郎 訳詩：安田 二郎

- 1) 雄々しく進もう
- 2) 果てなき荒野
- 3) 死刑の戦士
- 4) 怒りの日
- 5) 鎮魂歌
- 6) 歌

指揮：岡本 俊久

3. 「REQUIEM in D-Moll」

作曲：L. Cherubini

- 1) Introitus et Kyrie
- 2) Graduale
- 3) Dies Irae
- 4) Offertorium
- 5) Sanctus
- 6) Pie Jesu
- 7) Agnus Dei

指揮：濱田 徳昭
Orch：萩音楽祭管弦楽団

<早稲田大学グリークラブ 第20回定期演奏会-1>

1972/12/03 東京厚生年金会館大ホール
SOUND CREATION INC. SCI-1040~1

福永暁子ママさんより故・福永陽一郎氏所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化作業を開始したが、レコード2枚目の両面とも、センターからちょうど7cmほどのところに同心円状の致命的な傷がある。恐らく福永氏ご本人によるものではなく、過去に借り出した方が、クリーニングマシンなりオートプレイヤーテーブルの機器不良か操作ミスで、傷をつけてしまったものと推測される。

そのため、以前に第21~24回東西四連（1972~1975）のレコードでお世話になった渡辺正美先輩（1976卒）に再び連絡を取らせて頂き、渡辺先輩所蔵の第20回定演レコードをお借りして作業を続行した。「渡辺盤」からテイクしたのは、「レクイエム」前奏~第三楽章までと、アンコール/ストームである。

更に、この定演のライブレコードには根本的な問題があって、誠に残念ながら最初から最後まで、電氣的ノイズが入っているのである。制作者「SOUND CREATION INC.」の良心と技術が疑われるノイズである。

演奏は、全体を通して、ある一定の音量・音域を越えると突然合唱が機能しなくなるが、これは基礎的な訓練の浸透度に起因する。

また、ベースに大変な美声が入っていて、ロシア民謡「ヴォルガの巖」のソロも素晴らしく、更には「タンホイザー」や「レクイエム」でもベースの核となっている。

「ロシア民謡」で連弾を披露するうちの2年生・堀俊輔氏は、翌々年・1974年の学生指揮者となり、また大学卒業後に東京芸術大学に進み、プロ指揮者となる。

学生指揮者の岡本俊久氏が、このタンホイザーの楽譜をお借りすると言うので福永陽一郎氏を訪ねたことが、後に福永陽一郎を恒常的に早稲田グリーに迎えるきっかけとなった、とのことである。早稲田グリーが単独でワーグナー・プログラムを取り上げるのは、これが最初で最後である。

1. 校歌「都の西北」

指揮：岡本 俊久

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：岡本 俊久

3. 「ロシア民謡」より

編曲：V.G. ザハーロフ

- 1) ЧАРОЧКА МОЯ / 私の盃
- 2) УЖ ТЫ ПОЛЕ / 野原よ
- 3) НЕ ОДНА ВО ПОЛЕ ДОРОЖЕНЬКА / 野の道は一つではない
- 4) ЕСТЬ НА ВОЛГЕ УТЁС / ヴォルガの巖
- 5) СТЕПЬ ДА СТЕПЬ КРУГОМ / 果てなき荒野原
- 6) ВДОЛЬ ДА ПО РЕЧКЕ / 小川に沿って

指揮：岡本 俊久

P f : 森田 知治(4年)、堀 俊輔(2年)

4. 「タンホイザーによる男声合唱組曲」

台本・作曲：R. Wagner 編曲：福永 陽一郎

- 1) 大行進曲（歌の殿堂を讃えよう）
- 2) ヴォルフラムの詠唱（彼女がここで祈っているだろうとは思っていた）
- 3) 巡礼の合唱（故郷よ、喜びもて我は汝を見る）
- 4) エリザベートの詠唱・祈り（万能の処女マリア、我が願いを聞き給え）
- 5) ヴォルフラムの詠唱・夕星の歌（ああ、我が優しき夕よ）
- 6) フィナーレ・救済の歌

指揮：岡本 俊久

P f : 深町 純

独唱：小池 容子(エリザベート)
中村 義春(ヴォルフラム)

<早稲田大学グリークラブ 第20回定期演奏会-2>

1972/12/03 東京厚生年金会館大ホール
SOUND CREATION INC. SCI-1040~1

小林研一郎氏、早稲田大学グリークラブの指揮台への初登場である。
また、独唱の中村義春氏はこの「レクイエム」初演時のソリストとのことである。

5. パリトン独唱、男声合唱及びオーケストラのための「レクイエム」

作曲：三木 稔

- 1) 前奏
- 2) 第一楽章
- 3) 第二楽章
- 4) 第三楽章
- 5) 第四楽章
- 6) 第五楽章

指揮：小林 研一郎
管弦楽：東京交響楽団
独唱：中村 義春

アンコール/ストーム

- 1) 遥かな友に
- 2) 紺碧の空
- 3) 光る青雲
- 4) RIDE THE CHARIOT
- 5) ふるさと

<早稲田大学グリークラブ 第21回定期演奏会-1>

1973/12/01 渋谷公会堂
/12/02 東京厚生年金会館大ホール
アジアレコード LM-4124~5

福永暁子ママさんより故・福永陽一郎氏所蔵の貴重なレコードをお借りしたものです。

1. 校歌「都の西北」

指揮：北浦 悟

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：北浦 悟

3. 「Messe Solennelle (St. Cecilia)」

作曲：Charles Gounod 編曲：福永 陽一郎

- 1) Kyrie
- 2) Gloria
- 3) Credo
- 4) Sanctus
- 5) Benedictus
- 6) Agnus Dei

指揮：小林 研一郎
Orch：新交響楽団

4. 組曲「中原中也の詩から」

作詩：中原 中也 作曲：多田 武彦

- 1) 北の海
- 2) 汚れっちまった悲しみに
- 3) 朝鮮女
- 4) 雲雀
- 5) 六月の雨
- 6) 月の光

指揮：北浦 悟

<早稲田大学グリークラブ 第21回定期演奏会-2>

1973/12/01 渋谷公会堂
/12/02 東京厚生年金会館大ホール
アジアレコード LM-4124~5

5. 組曲「日曜日」

作詩：蓬萊 泰三 作曲：南 安雄

- 1) 朝
- 2) 街で
- 3) かえり道
- 4) てがみ 指揮：小林 研一郎
- 5) おやすみ P f：目黒 晶子

6. 「Gesang eines welken Baumes und der Sonne」(ドイツ語版初演)

作曲：Kan Ishii

- 1) Einsam singt ein welker Baum
- 2) Gespraech zwischen Blumen und Sonne
- 3) Chor der Winterstürme 指揮：北浦 悟
- 4) Gebet des welken Baumes zur Sonne P f：目黒 晶子

アンコール/ストーム

- 1) アカシアの径 (独唱：小林研一郎)
- 2) 最上川舟歌
- 3) ウ・ボイ
- 4) 遙かな友に

「Gesang eines welken Baumes und der Sonne」は、「枯木と太陽の歌」のドイツ語版。
1980年代末頃までは、早稲田グリーの部室にドイツの合唱団が歌った演奏のオープンリールがあり、その
超絶的な演奏に驚嘆したものだが、残念ながらテープはその後行方不明となってしまった

<早稲田大学グリークラブ 第22回定期演奏会-1>

1974/12/01 東京厚生年金会館
アジアレコード LM-4462~3

福永暁子ママさんより故・福永陽一郎氏所蔵の貴重なレコードをお借りしたものです。

1. 校歌「都の西北」

指揮：堀 俊輔

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：堀 俊輔

3. 男声合唱雲曲「海の構図」

作詩：小林 純一 作曲：中田 喜直 編曲：福永 陽一郎

- 1) 海と蝶
- 2) 海女礼賛
- 3) かもめの歌
- 4) 神話の巨人

指揮：小林 研一郎
P f：竹中 勇記彦

4. 男声合唱と打楽器のための「もぐらの物語」

作詩：小田切 清光 作曲：三木 稔

- 1) 目覚めの挨拶
- 2) 遠い星に
- 3) 地底の傷み
- 4) 東の間のやすらぎの中で
- 5) 六月の雨
- 6) 闇から闇を

指揮：堀 俊輔
Perc：石内 聡明
松倉 利行

<早稲田大学グリークラブ 第22回定期演奏会-2>

1974/12/01 東京厚生年金会館
アジアレコード LM-4462~3

5. [LET'S PLAY WEST SIDE STORY]

作詩: Stephen Sondheim 作曲: Leonard Bernstein 編曲: 前田 憲男

- 1) JET SONG
- 2) SOMETHING'S COMING
- 3) MARIA
- 4) TONIGHT
- 5) AMERICA
- 6) COOL
- 7) SOMEWHERE
- 8) QUINTET
- 9) (Stage Encore)

指揮: 堀 俊輔
Band: 早稲田大学ハイ・ソサエティ・オーケストラ

6. 男声合唱組曲「月光とピエロ」

作詩: 堀口 大輔 作曲: 清水 脩

- 1) 月夜
- 2) 秋のピエロ
- 3) ピエロ
- 4) ピエロの嘆き
- 5) 月光とピエロとピエレットの唐草模様

指揮: 小林 研一郎

アンコール/ストーム

- 1) 武蔵野の雨
- 2) 遙かな友に
- 3) アカシアの径 (独唱: 小林研一郎)
- 4) 最上川舟歌

＜早稲田大学グリークラブ 第23回定期演奏会－1＞

1976/01/16 東京厚生年金会館
アジアレコード a-3081～4

1. 校歌「都の西北」

指揮：西田 裕巳

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：西田 裕巳

3. 男声合唱のための「四つの仕事唄」

作曲：小山 清茂

- 1) 囃し田 ～広島県民謡
- 2) 石切唄 ～小豆島民謡
- 3) 胴搦き ～Text:小山清茂
- 4) 酒屋唄 ～岩手県民謡

指揮：西田 裕巳
 樽太鼓：中丸 元良
 独唱：武内 正（2、4）
 本多 一義（3）

4. カンタータ「土の歌」（男声・平野版初演）

作詩：大木 惇夫 作曲：佐藤 眞 編曲：平野 淳一

- 1) 農夫と土
- 2) 祖国の土
- 3) 死の灰
- 4) もぐらもち
- 5) 天地の怒り
- 6) 地上の祈り
- 7) 大地讃頌

指揮：西田 裕巳
 P f：石割 晶子

福永暁子ママさんより故・福永陽一郎氏所蔵の貴重なレコードをお借りしたのだが、2枚目B面の「Requiem」で致命的な傷があったことから、この面は渡辺正美先輩(1976卒)所蔵のレコードから収録している。

渡辺先輩は1972～1975年度の早稲田グリー在籍で、演奏会で言えば第21～24回東西四連、第21～24回東京六連、第20～23回定期演奏会、そして1975年のショスタコーヴィッチ交響曲第13番「バビ・ヤール」という13演奏会を含むが、そのうち実に9演奏会分のレコードを快く貸し出して下さった。

これらのレコード以外にも、当時東芝から市販された早慶100名による「男声合唱の魅力」という唱歌・童謡集のレコードを御紹介頂いたり、様々な知られざるエピソードを御教示頂くなど、当方の一連の音源デジタル化作業に絶大なご助力を頂いた。

ここに改めまして厚くお礼申し上げます。

この第23回定期演奏会は、当方私見ながら、第12回定期演奏会以来の完成度であると感じられる。各パートの音色が似通っていること、この時期の他団と異なりバリトンが素直な声であること、トッテナー・セカンドテナーの音色がやわらかく、しかも良く揃っておりフレージングも良く練られている。

メンバー表によればT1=22、T2=24、B1=25、B2=22、計93名。

また、練習部門の充実ぶりは今でも羨ましいものである。

学生指揮者：西田 裕巳氏
 パートリーダー：武内 正氏 (Top Tenor)
 本多 一義氏 (Second Tenor)
 大島 宣昭氏 (Baritone)
 渡辺 正美氏 (Bass)

なお、この1975年度のトピックとして、同年12月にショスタコーヴィッチ交響曲第13番「バビ・ヤール」日本初演が行われた。指揮者に早稲田大学交響楽団OBの山岡重信氏、バス独唱に早稲田グリーOBの岡村喬生氏を迎え、管弦楽を早稲田大学交響楽団、合唱を早稲田グリー及びOBの稲門グリー、そして邦訳詩は早稲田グリーOBの伊東一郎氏という早稲田の音楽団体の両雄による大規模なものであった。この演奏会準備中の同年夏にショスタコーヴィッチが急逝したことから、演奏会は急遽「追悼記念」となった。

この演奏会の大成功により、一時低迷していた稲門グリーは復活を遂げるが、他方で、本来ならば早稲田グリーが定演で使用する予定であった渋谷公会堂・東京厚生年金会館が、稲門グリーの強い要請によりこの「バビ・ヤール」のために供出させられた。そのため、早稲田グリーの定演が翌1月開催となり、この年の4年生は通常なら2月に開催される送別演奏会を開いてもらえなかった。

カンタータ「土の歌」は、佐藤眞氏が東京藝術大学在籍中に作曲した混声合唱曲で、オリジナルは管弦楽伴奏による。この演奏は、童謡作曲家でもある平野淳一氏による編曲による男声版初演だが、この14年後の1989年に、埼玉県立川越高等学校音楽部（というより当時の顧問・浅井一郎氏）の依頼による佐藤氏本人の男声版編曲が発表された。

<早稲田大学グリークラブ 第23回定期演奏会-2>

1976/01/16 東京厚生年金会館
アジアレコード a-3081~4

5. ケルビーニ「レクイエム」

作曲：Luigi Cherubini

- 1) Introitus
- 2) Graduale
- 3) Dies Irae
- 4) Offertorium
- 5) Sanctus
- 6) Pie Jesu
- 7) Agnus Dei

指揮：手塚 幸紀
Orch：新星日本交響楽団

アンコール/ストーム

- 1) アカシアの径 (独唱：鹿野 道男、ヴォイストレーナー)
- 2) 見上げてごらん夜の星を
- 3) 遙かな友に
- 4) 早稲田の栄光

<早稲田大学グリークラブ 第24回定期演奏会-1>

1976/12/04 共立講堂
東芝EMI LRs-502~3

細金雅彦先輩(1980卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードの収録順に従ってデジタル化している。

0. (場内開演前アナウンス)

1. 校歌「都の西北」

指揮：浅井 良之

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：浅井 良之

3. 男声合唱組曲「ふるさと」

作詩：室生 犀星 作曲：原 博

- 1) ふるさと
- 2) 寂しき春
- 3) 大乘寺山にて
- 4) 水すまし
- 5) 蟬頃
- 6) 時無草
- 7) 童子

指揮：浅井 良之

4. 合唱による風土記「阿波」

作曲：三木 稔

- 1) たいしめ(鯛締)
- 2) 麦打ち
- 3) もちつき(餅搗)
- 4) 水取り
- 5) たたら(踏鞴)

指揮：浅井 良之

ステージ・ストーム

- 1) 光る青雲
- 2) アカシアの径
- 3) 最上川舟歌

<早稲田大学グリークラブ 第24回定期演奏会-2>

1976/12/04 共立講堂
東芝EMI LRs-502~3

「LOVE SOUNDS ALBUM」は、70年代中盤の楽曲嗜好だけでなく、続出するソリストの歌いくちからも当時の学生気質を感じる事が出来る。折しもグループサウンズからフォーク全盛期を過ぎて、ピンク・レディーが一世を風靡している頃であった。

5. 「LOVE SOUNDS ALBUM」

- 1) TARA'S THEME (MY OWN TRUE LOVE)
- 2) LOVE THEME FROM "SANDPIPER"
- 3) TIE A YELLOW RIBBON ROUND THE OLD OAK TREE
- 4) TRY TO REMEMBER
- 5) BRIDGE OVER TROUBLED WATER
- 6) LOVE ME TONIGHT
- 7) UN JOUR TU REVIENDRAS

編曲・指揮：小野崎 孝輔
Band：綾部肇ピアノカルテット

6. 男声合唱組曲「水のいのち」

作詩：高野 喜久雄 作曲：高田 三郎

- 1) 雨
- 2) 水たまり
- 3) 川
- 4) 海
- 5) 海よ

指揮：手塚 幸紀
P f：川口 耕平

アンコール「遙かな友に」

<早稲田大学グリークラブ 創立70周年第25回記念定期演奏会-1>

1977/12/04 東京厚生年金会館大ホール
RECORDING PROJECT LTD. MML-1083~4

細金雅彦先輩(1980卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードの収録陣に従ってデジタル化している。

1. 校歌「都の西北」 指揮：三品 智

2. クラブソング「輝く太陽」 指揮：三品 智

アンコール

1) “大行進曲” 歌劇「タンホイザー」より
作曲：R. Wagner 編曲・指揮：福永 陽一郎
Orch：東京交響楽団

2) 遙かな友に 指揮：三品 智

3. 男声合唱のための「祝歌・悲歌・恋歌」—第25回定演記念委嘱作品—(初演)

作詩：松田 幸雄 作曲：萩原 英彦

1) 祝春歌
2) 悲歌
3) プシュケ 指揮：福永 陽一郎

4. 「チャイコフスキー歌曲集」

作曲：P. Tchaikovskii 編曲：福永 陽一郎

1) 何故
2) 語るな、我が友よ
3) この月の夜に
4) 再びもとのような孤独で
5) 唯、憧れを知る者のみが 指揮：三品 智
6) ドン・フェンのセレナーデ P f：久邇 之宜

故・萩原英彦氏の数少ない男声合唱曲のうちの一つ。この他には「山羊の月夜」「動物たちのコラール第IV集」がある。

<早稲田大学グリークラブ
創立70周年第25回記念定期演奏会-2>

1977/12/04 東京厚生年金会館大ホール
RECORDING PROJECT LTD. MML-1083~4

5. Folk Songs of the New World

- 1) Red River Valley
 - 2) The Old Chisholm Trail
 - 3) On the Top of Old Smoky
 - 4) Skip to my Lou
 - 5) Black is the Color of my True Love's Hair
 - 6) I've been workin' on duh Railroad
- 編曲：福永 陽一郎
指揮：三品 智

6. 「Die Tageszeiten」 -オリジナル・オーケストラ版日本初演-

作詩：Joseph von Eichendorff 作曲：Richard Strauss

- 1) 朝 Der Morgen
 - 2) 昼の休息 Mittagsruh
 - 3) 夕方 Der Abend
 - 4) 夜 Die Nacht
- 指揮：福永 陽一郎
Orch：東京交響楽団

<早稲田大学グリークラブ 第26回定期演奏会-1>

1978/12/02 東京厚生年金会館大ホール
RECORDING PROJECT LTD. MML-1103~04

細金雅彦先輩(1980卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。
レコードの収録順に従ってデジタル化している。

「四つの厳肅な歌」「JESUS CHRIST SUPERSTAR」「十の詩曲」というレパートリーを揃えており、早稲田
グリー史上でも最も過酷な演奏会と言って良い。後年の故・福永陽一郎氏もそう述懐しておられた。
特にトップテナーは「その声を破壊しかねない」演目ばかりである。

1. 校歌「都の西北」

指揮：渡辺 明

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：渡辺 明

3. 「四つの厳肅な歌」

作曲：J. Brahms 編曲：福永 陽一郎

- 1) 世の人の臨むところのものは
- 2) ここに我が身をめぐらして
- 3) おお死よ、なれこそ痛まし
- 4) たとえ我もろもろの

指揮：田中 一嘉
P f：久邇 之宜

4. 「蛙の歌」～男声合唱のための組曲～

作詩：草野 心平 作曲：南 弘明

- 1) 小曲
- 2) 亡霊
- 3) 鱉と蛙
- 4) 蛇祭り行進
- 5) 秋の夜の会話

指揮：渡辺 明

アンコール

- 1) 「白鳥」(曲：C. Saint Saens/編：福永陽一郎)
指揮：福永 陽一郎/P f：久邇 之宜

- 2) 遙かな友に 指揮：渡辺 明

<早稲田大学グリークラブ 第26回定期演奏会-2>

1978/12/02 東京厚生年金会館大ホール
RECORDING PROJECT LTD. MML-1103~04

5. 「JESUS CHRIST SUPERSTAR」 from the Rock Opera

作詩: Tim Rice 作曲: A. Lloyd Webber 編曲: 福永 陽一郎

- 1) Prologue
- 2) Heaven On Their Minds
- 3) Everything's Alright
- 4) Hosanna
- 5) I don't know how to love him
- 6) I only want to say (Gethemane)
- 7) King Herod's Song
- 8) Superstar
- 9) Epilogue

指揮: 福永 陽一郎
独唱: 中村 まゆ美
Band: THE NALEIO

6. 「六つの男声合唱曲」～ショスタコヴィッチの「十の詩曲」による～

作曲: D. Shostakovitch 編曲: 福永 陽一郎 訳詩: 安田 二郎

- 1) 雄々しく進もう
- 2) 果てなき荒野
- 3) 死刑の戦士
- 4) 怒りの日
- 5) 鎮魂歌
- 6) 歌

指揮: 福永 陽一郎

<早稲田大学グリークラブ 第27回定期演奏会-1>

1979/12/01 東京厚生年金会館大ホール
RECORDING PROJECT LTD. MML-1123~24

細金雅彦先輩(1980卒)所蔵の貴重なレコードをお借りし、デジタル化したもの。

1. 校歌「都の西北」

指揮：越沼 正典

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：越沼 正典

3. 「MESSE SOLENNELLE」

作曲：Albert Duhaupas

- 1) Kyrie
- 2) Gloria
- 3) Credo
- 4) Sanctus
- 5) O Salutaris
- 6) Agnus Dei

指揮：福永 陽一郎

4. 「枯木と太陽の歌」

作詩：中田 浩一郎 作曲：石井 敏

- 1) 枯木は独りで歌う
- 2) 花と太陽の会話
- 3) 冬の夜の木枯しの合唱
- 4) 枯木は太陽に祈る

指揮：越沼 正典
P f：荻久保 和明

<早稲田大学グリークラブ 第27回定期演奏会-2>

1979/12/01 東京厚生年金会館大ホール
RECORDING PROJECT LTD. MML-1123~24

5. 「“ABBA” The World」

作曲：Benny Andersson 編曲：丸山 雅仁

- 1) SUMMER NIGHT CITY
- 2) CHIQUITITA
- 3) FERNANDO
- 4) THAT'S ME
- 5) DANCING QUEEN
- 6) THANK YOU FOR THE MUSIC

指揮：越沼 正典
Band：佐藤史郎バンド

6. 「NEGRO SPIRITUALS」

編曲：William Dawson

- 1) Ev'ry Time I Feel The Spirit
- 2) Swing low, Sweet Chariot
- 3) In His Care-O
- 4) Ain'-a That Good News!
- 5) There Is A Balm in Gilead
- 6) Soon Ah Will Be Done

指揮：福永 陽一郎

アンコール

- 1) 白い思い出 (詩・曲：山崎 唯／編：福永陽一郎)
指揮：福永 陽一郎
- 2) 遙かな友に 指揮：越沼 正典

<早稲田大学グリークラブ 第28回定期演奏会-1>

1980/12/17 新宿文化センター大ホール
ASIA RECORD AR-1107~8

井上靖夫先輩(1981卒)所蔵の貴重なレコードと、偶然入手したレコードとからデジタル化したもの。

この第28回定期演奏会のレコードには、実は秘話がある。

井上先輩からお借りしたレコードは良く聴きこまれていて、年代物にふさわしいノイズが出ており、これはこれで良いか、とも思っていた。ところが、2003年春のある日、何気なく神田・神保町の中古レコード屋を訪れたところ、何と第28回定演のレコードが売りに出ているのである。

店員によれば、詳しくは教えて頂けなかったが、中年の女性が「亡くなった夫の持ち物」として、まとまった量のレコードを持ち込んできた中であつた、という。確かにこの年度のメンバーには、既にこの世を去っている方が数名おられるが、しかし・・・こういう形で後輩を助けて下さった、ということか・・・結局、このレコードを購入した。盤質は良好であり、いくつかのステージはこのレコードからテイクした。

1. 校歌「都の西北」

指揮：川元 啓司

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：川元 啓司

3. 男声合唱組曲「月光とピエロ」

作詩：堀口 大樹 作曲：清水 脩

- 1) 月夜
- 2) 秋のピエロ
- 3) ピエロ
- 4) ピエロの嘆き
- 5) 月光とピエロとピエレットの唐草模様

指揮：川元 啓司

4. 「ヤナーチェク男子合唱曲集」

作曲：Leos Janacek

- 1) Unstete Liebe
- 2) Trostlos Einsam
- 3) Drohung
- 4) O Liebe!
- 5) Ach, Krieg, Krieg!
- 6) Deine Schönen Augen
- 7) Deinem Schicksal Entgehst Du Nicht

指揮：福永 陽一郎

<早稲田大学グリークラブ 第28回定期演奏会-2>

1980/12/17 新宿文化センター大ホール
ASIA RECORD AR-1107~8

5. 男声合唱曲「炎える母」(委嘱初演)

作詩: 宗 左近 作曲: 荻久保 和明

- 1) (I)
- 2) (II)
- 3) (III)
- 4) (IV)
- 5) (V)

指揮: 荻久保 和明
P f : 小川 やえこ

6. 「Die Lustige Witwe (メリー・ウィドウ)」

作詩: Victor Leon、Leo Stein 作曲: Franz Lehar 編曲: 福永 陽一郎

- 1) Vorspiel
- 2) Vilja-Lied
- 3) Weib, Weib, Weib!
- 4) Romanze
- 5) Finale

指揮: 福永 陽一郎
独唱: 勝本 章子
P f : 金井 紀子
Electone: 小林 順子
V n : 中村 伸子
C b : 毛利 恭三

アンコール

- 1) SERENADE (from "The Student Prince",
詩: D. Donnelly/曲: S. Romberg/編: 北村 協一)
指揮: 福永 陽一郎
- 2) 遙かな友に 指揮: 川元 啓司

<早稲田大学グリークラブ 第29回定期演奏会-1>

1981/12/05 東京厚生年金会館大ホール
東芝EMI LRS-787~8

1. 校歌「都の西北」

指揮：山本 正洋

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：山本 正洋

3. 「リヒャルト・シュトラウス ー愛の詩集ー」

作曲：Richard Strauss 編曲：福永 陽一郎

- 1) ALLERSEELEN Op. 10, Nr. 8 万霊節
- 2) HEIMLICHE AUFFORDERUNG Op. 27, Nr. 3 ひそやかな誘い
- 3) TRAUM DURCH DIE DÄMMERUNG Op. 29, Nr. 1 黄昏の夢
- 4) MORGEN! Op. 27, Nr. 4 あした
- 5) "ICH TRAGE MEINE MINNE" Op. 32, Nr. 1 愛をいだきて
- 6) CÄCILIE Op. 27, Nr. 2 ツェツィーリエ

指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜

4. 「SEA CHANTIES」

編曲：Rodger Wagner(1), R. Shaw & A. Parker(2-6)

- 1) SAILING SAILING
- 2) HOMEWARD BOUND
- 3) WHUP! JAMBOREE
- 4) THE ERIE CANAL
- 5) WHAT SHALL WE DO WITH THE DRUNKEN SAILOR
- 6) SHENANDOAH
- 7) THE DRUMMER AND THE COOK

指揮：山本 正洋
P f：阿部 滋

5. 「合唱のためのコンポジションⅢ」

作曲：間宮 芳生

- 1) 鱸
- 2) 羯鼓
- 3) 引き念仏

指揮：山本 正洋

<早稲田大学グリークラブ 第29回定期演奏会-2>

1981/12/05 東京厚生年金会館大ホール
東芝EMI LRS-787~8

5. バリトン独唱、男声合唱及びオーケストラのための「レクイエム」

作曲：三木 稔

- 1) 前奏
- 2) 第一楽章
- 3) 第二楽章
- 4) 第三楽章
- 5) 第四楽章
- 6) 第五楽章

指揮：福永 陽一郎
管弦楽：東京アカデミックウィンドオーケストラ
独唱：山本 健二

アンコール

- 1) WIEGENLIED (曲：F. SHUBERT)
- 2) 遥かな友に (詩・曲：磯部 俣)

指揮：福永 陽一郎
指揮：山本 正洋

ステージ・ストーム

- 1) 紺碧の空
- 2) 光る青雲
- 4) 早稲田の栄光

指揮：山本 正洋
指揮：山本 正洋
指揮：大越 智

<早稲田大学グリークラブ 第30回記念定期演奏会-1>

1982/12/04 東京厚生年金会館大ホール
インターコム ICR-1319~20

1. 校歌「都の西北」

指揮：大越 智

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：大越 智

3. 「ハイドン男声合唱曲集」

作曲：J. Haydn

- 1) An die Frauen (女について)
- 2) Daphnens einziger Fehler (ダフネの唯一の欠点)
- 3) Das gestörte Ständchen (じゃまが入ったセレナーデ)
- 4) Die Beredsamkeit (おしゃべり)
- 5) Gebet zu Gott (神への祈り)
- 6) Matroseinlied (船乗りの歌)

指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜

4. 男声合唱組曲「幼年連禱」(男声版初演)

作詩：吉原 幸子 作曲：新実 徳英 編曲：福永 陽一郎

- 1) 花
- 2) 不眠
- 3) 憧れ
- 4) 熱
- 5) 喪失

指揮：大越 智
P f：久邇 之宜

<早稲田大学グリークラブ 第30回記念定期演奏会-2>

1982/12/04 東京厚生年金会館大ホール
インターコム ICR-1319~20

5. 「オーヴェルニュの歌」

作曲：Joseph Canteloube

- 1) Baïlèrô (バイレロ)
- 2) Chut, Chut (しっ、しっ、静かに)
- 3) Lou Coucut (かっこう)
- 4) Brezarola (子守歌)
- 5) Passo pel prat (牧場を歩いて)

編曲・指揮：福永 陽一郎
Celesta：池谷 玲子
O b：柴山 洋
C b：毛利恭三

6. 「コダーイ男声合唱集」

作曲：Kodály Zoltán

- 1) HUSZT (廃墟)
- 2) BORDAL (乾杯の歌)
- 3) KIT KÉNE ELVÉNNI (だれをもらおうか?)
- 4) FÖLSZALLOTTA A PÁVA (孔雀は飛んだ)
- 5) ISTEN CSODÁJA (神の奇蹟)

指揮：大越 智

アンコール

- 1) おじさんの子守歌 (詩：安西 均/曲：服部 公一/編曲：福永 陽一郎)
指揮：福永 陽一郎
- 2) 遙かな友に (詩・曲：磯部 俣)
指揮：大越 智

ステージ・ストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：大越 智
- 2) 光る青雲 指揮：大越 智
- 4) 早稲田の栄光 指揮：笹原 優樹

<早稲田大学グリーンクラブ 第31回定期演奏会-1>

1983/12/03 東京厚生年金会館大ホール
CABIN PUBLICITY LTD. CPR-80001~02

1. 校歌「都の西北」

指揮：笹原 優樹

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：笹原 優樹

3. 「Vespergesang Opus 121」

作曲：Felix Mendelssohn

- 1) Allegro moderato
- 2) Adagio - Con moto
- 3) Adagio
- 4) Andante

指揮：田中 一嘉
Vc：田中 雅弘
Cb：吉川 英幸

4. 男声合唱組曲「クレアの絵本 第2集」

作詩：谷川 俊太郎 作曲：三善 晃

- 1) 黒い王様
- 2) ケトルドラム奏者
- 3) 黄金の魚
- 4) まじめな顔つき
- 5) 死と炎

指揮：笹原 優樹

5. 「屋根の上のヴァイオリン弾き」より

作曲：Jerry Bock 編曲：福永 陽一郎

- 1) Tradition
- 2) Sabbath Prayer
- 3) Anatevka
- 4) To Life
- 5) Sunrise, Sunset

指揮：福永 陽一郎
Pf：久邇 之宜
Acco：中山 英雄
Vl：高久 滋夫
Timp：小林 龍生
演出：田中 晴喜

<早稲田大学グリークラブ 第31回定期演奏会-2>

1983/12/03 東京厚生年金会館大ホール
CABIN PUBLICITY LTD. CPR-80001~02

6. 男声合唱曲「岬の墓」

作詩：堀田 善衛 作曲：團 伊玖磨 編曲：福永 陽一郎

指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜

アンコール

1) 鳥が (詩：川崎 洋/曲：新実 徳英)

指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜

2) 遥かな友に (詩・曲：磯部 俣)

指揮：笹原 優樹

ステージ・ストーム

1) 紺碧の空
2) 光る青雲
4) 早稲田の栄光

指揮：笹原 優樹
指揮：笹原 優樹
指揮：利光 敬司

<早稲田大学グリークラブ 第32回定期演奏会-1>

1984/12/15 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30440~1

1. 校歌「都の西北」

指揮：利光 敬司

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：利光 敬司

3. 「チャイコフスキー歌曲集」

作曲：P. Tchaikovsky 編曲：福永 陽一郎

- 1) WARUM?
- 2) NICHT WORTE, GELIEBTER
- 3) INMITTEN DES BALLE
- 4) WIEDER WIE FRÜHER
- 5) NUR WER DIE SEHNSUCHT KENNT
- 6) STÄNDCHEN DES DON JUAN

指揮：大友 直人
P f：久邇 之宜

4. 合唱による風土記～「阿波」

作曲：三木 稔

- 1) たいしめ(鯛締)
- 2) 麦打ち
- 3) もちつき(餅搗)
- 4) 水取り
- 5) たたら(踏鞴)

指揮：利光 敬司

<早稲田大学グリークラブ 第32回定期演奏会-2>

1984/12/15 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30440~1

5. OLD FAVORITES of YALE UNIV. GLEE CLUB

- 1) Gaudeamus
- 2) Whiffenpoof Song
- 3) De Animals A-Comin'
- 4) Old Tom Wilson
- 5) Shall I, Wasting in Despair?
- 6) Old Man Noah
- 7) Twilight

指揮：利光 敬司

6. 男声合唱とピアノのための「祈りの虹」

作曲：新実 徳英

- 1) “炎”より (詩：峠 三吉)
- 2) “業火”より (詩：金子 光晴)
- 3) Vocalise
- 4) “ヒロシマにかける虹”より (詩：津田 定雄)

指揮：福永 陽一郎
P f：久瀬 之宜

アンコール

- 1) Evening Song (曲：Kodály Zoltán) 指揮：福永 陽一郎
- 2) 遙かな友に (詩・曲：磯部 俣) 指揮：利光 敬司

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：利光 敬司
- 2) 光る青雲 指揮：利光 敬司
- 3) 早稲田の栄光 指揮：新井 康之

<早稲田大学グリークラブ 第33回定期演奏会-1>

1985/12/7 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30487~8

1. 校歌「都の西北」

指揮：新井 康之

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：新井 康之

3. フランスの詩による男声合唱曲集「月下の一群 第二集」

訳詩：堀口 大輔 作曲：南 弘明

- 1) 雨の巷に (詩：ポール・ウエルレス)
- 2) あの娘 (詩：ポール・フォーレ)
- 3) 夜曲 (詩：アトール・ブレテ)
- 4) 十月の薔薇 (詩：ルミ・ド・グー尔蒙)
- 5) 冬 (詩：モリス・ウランク)

指揮：関屋 晋
P f : 久邇 之宜

4. 男声合唱のための「三つの抒情」

作曲：三善 晃 編曲：福永 陽一郎

- 1) 或る風に寄せて (立原 道造)
- 2) 北の海 (中原 中也)
- 3) ふるさとの夜に寄す (立原 道造)

指揮：新井 康之
P f : 池谷 玲子

5. 「THE WESTERN NOSTALGIA」

編曲：福永 陽一郎

- 1) Oh, Bury Me Not on the Lone Prairie !
- 2) Doney Gal
- 3) The Street of Laredo
- 4) Poor Lonesome Cowboy
- 5) Colorado Trail
- 6) Cool Water
- 7) Home on the Range

指揮：福永 陽一郎
Guitar : 今村 瞭
Accordion : 津田 加寿子
Contrabass : 宮崎 正秀

<早稲田大学グリークラブ 第33回定期演奏会-2>

1985/12/7 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30487~8

6. 「REQUIEM in D-moll」

作曲：L. Cherubini 伴奏編曲：福永 陽一郎

- 1) Intriotus et Kyrie
- 2) Graduale
- 3) Dies Irae
- 4) Sanctus 指揮：福永 陽一郎
- 5) Agnus Dei P f：久邇 之宜、池谷 玲子

アンコール

- 1) Nigra Sum (曲：Pablo Casals) 指揮：福永 陽一郎
- 2) 秋の歌 (詩：ポール・ウエルレス／訳詩：堀口 大学／作曲：南 弘明) 指揮：関屋 晋
- 3) 遥かな友に 指揮：新井 康之

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：新井 康之
- 2) 光る青雲 指揮：新井 康之
- 3) 早稲田の栄光 指揮：山田 敦

<早稲田大学グリークラブ 第34回定期演奏会-1>

1986/11/30 東京厚生年金会館大ホール

レコードジャケットの名簿によるとT1=16, T2=25, B1=21, B2=22 計84名となっている。

1. 校歌「都の西北」2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：山田 敦

3. 「R. シュトラウス歌曲集」

作曲：R. Strauss 編曲：福永 陽一郎

- 1) 万霊節
- 2) ひそやかな誘い
- 3) 黄昏の夢
- 4) あした
- 5) 愛をいだきて
- 6) ツェツィーリエ

指揮：十束 尚宏
P f：久瀬 之宜4. 男声合唱組曲「雨」

作曲：多田 武彦

- 1) 雨の来る前 (伊藤 整)
- 2) 武蔵野の雨 (大木 惇夫)
- 3) 雨の日の遊動円木 (大木 惇夫)
- 4) 雨 雨 (尾形 亀之介)
- 5) 雨の日に見る (大木 惇夫)
- 6) 雨 (八木 重吉)

指揮：山田 敦

5. 「さすらう若人の歌」

作詩・作曲：G. Mahler 編曲：福永 陽一郎

- 1) 君がとつぐ日
- 2) 露しげき朝の野辺に
- 3) 灼熱せる短刀もて
- 4) 君が青きひとみ

指揮：山田 敦
P f：久瀬 之宜

<早稲田大学グリークラブ 第34回定期演奏会-2>

1986/11/30 東京厚生年金会館大ホール

6. 「Premiers Prix」 of Broadway

編曲：福永 陽一郎

- 1) Over the Rainbow (詩：E.Y. Harburg／曲：Harold Arlen)
- 2) Indian Love Call (詩：Otto Harbach, O. Hammerstein II／曲：Rudolf Friml)
- 3) Begin the Beguine (曲：Cole Porter)
- 4) Night and Day (曲：Cole Porter)
- 5) Oklahoma (詩：O. Hammerstein II／曲：Richard Rodgers)
- 6) Ol' Man River (詩：O. Hammerstein II／曲：Jerome Kern)

指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜

アンコール

- 1) Memory ～from the Musical “CATS” (詩：Trevor Nunn／曲：Andrew Lloyd Webber)
指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜
- 2) AVE VERUM CORPUS (曲：W. A. Mozart) 指揮：山田 敦
- 3) 遥かな友に 指揮：山田 敦

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：山田 敦
- 2) 光る青雲 指揮：山田 敦
- 3) 最上川舟歌 指揮：山田 敦
- 4) 斎太郎節 指揮：山田 敦
- 5) 早稲田の栄光 指揮：吉田 宰士

<早稲田大学グリークラブ 第35回定期演奏会-1>

1987/11/29 東京厚生年金会館大ホール

レコードジャケットの名簿によるとT1=18, T2=15, B1=22, B2=21 計76名となっている。

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：吉田 宰士

3. 「合唱のためのコンポジションⅢ」

作曲：間宮 芳生

- 1) 艦
- 2) 羯鼓
- 3) 引き念仏

指揮：堀 俊輔

4. 「NEGRO SPIRITUALS」

- 1) Ride the Chariot
- 2) Calvary
- 3) Mary Had a Baby
- 4) If I Got My Ticket, Can I Ride?
- 5) Nobody Knows de Trouble I've Seen
- 6) My God Is Rock
- 7) Set Down Servant!

指揮：吉田 宰士

5. 「今でも……ローゼキは魔法の杖」無伴奏男声合唱のための

作詩：柴野 利彦 作曲：遠藤 雅夫

- 1) 溢れる泉は日々を巡り
- 2) 道路は巨大なキャンパス
- 3) 炎のように……
- 4) 爽やかなレモンの風は
- 5) 深い眠りに包まれて
- 6) 明るい光に満ちた季節は惑いを止め

指揮：吉田 宰士

<早稲田大学グリークラブ 第35回定期演奏会-2>

1987/11/29 東京厚生年金会館大ホール

6. 「ANTIGONE」

作曲：F. Mendelssohn 構成：福永 陽一郎

- 1) INTRODUKTION ~ Strahl des Helios, schönsten Licht
- 2) Vieles Gewaltige lebt
- 3) Ihr Seligen, deren Geschick
- 4) Aoch der Danae Reiz
- 5) Vielnamiger! Wonn' und Stolz der Kadmosjungfrau
- 6) Hier kommt er ja selbst
- 7) ~ Zum Schluss: Vier köstlicher ist als glückesgenuss

指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜

アンコール

- 1) The Impossible Dream ~from the Musical "Man of La Mancha"
(詩：Joe Darion/曲：Mitch Leige/編：福永陽一郎)
指揮：福永 陽一郎
P f：久邇 之宜
- 2) Soon Ah Will Be Done 指揮：吉田 宰士
- 3) 遙かな友に 指揮：吉田 宰士

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：吉田 宰士
- 2) 光る青雲 指揮：吉田 宰士
- 3) 斎太郎節 指揮：吉田 宰士
- 4) 早稲田の栄光 指揮：早武 淳

レコードジャケットの名簿によるとT1=15, T2=20, B1=24, B2=20 計79名となっている。

資料音源/不許複製

<早稲田大学グリークラブ 第36回定期演奏会-1>

1988/11/27 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30610~1

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：早武 淳

3. 「LIEBESLIEDER」

作詩：G. F. Daumer, J. W. Goethe 作曲：J. Brahms 編曲：福永 陽一郎

- 1) Rede, Mädchen, allzuliebes!
- 2) Am Gesteine rauscht die Flut
- 3) O die Frauen
- 4) Sieh; Wie ist die Welle Klar!
- 5) Nachtigall, Sie singt so schön
- 6) Ein dunkeler Schacht ist Liebe
- 7) Wenn so lind dein Auge mir
- 8) Ein Kleiner, hübscher Vogel
- 9) Am Donaustrande
- 10) Nein, es ist nicht auszukommen
- 11) Schlosser auf, und mache Schlösser
- 12) Zum Schluß (Neue Liebeslieder)
- 13) Stage Encore - Sieh; Wie ist die Welle Klar!

指揮：井上 道義
P f：久邇 之宜、池谷 玲子

4. 「SEA CHANTIES」

編曲：R. Shaw & A. Parker

- 1) Blow The Man Down
- 2) Rolling Home
- 3) Whup! Jamboree
- 4) A-Roving
- 5) Swansea Town
- 6) Shenandoah
- 7) The Drummer And The Cook

指揮：早武 淳
P f：坂井 伸之

<早稲田大学グリークラブ 第36回定期演奏会-2>

1988/11/27 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30610~1

5. 「山田耕筰作品集」

作曲：山田 耕筰 編曲：平野 淳一、林 雄一郎

- 1) この道 (詩：北原 白秋)
- 2) 待ちぼうけ (詩：北原 白秋) バス独唱：岡村 喬生
- 3) からたちの花 (詩：北原 白秋) P f : 伊藤 康英
- 4) あわて床屋 (詩：北原 白秋) 合唱指揮：早武 淳
- 5) 赤とんぼ (詩：三木 露風)
- 6) アンコール「ウィーン わが夢の街」 (詩・曲：Rudolf Sieczynski)

6. 革命詩人による“十の詩曲”より「六つの男声合唱曲」

作曲：D. Shostakovitch 訳詩：安田 二郎 編曲：福永 陽一郎

- 1) 雄々しく進もう
 - 2) 果てなき荒野
 - 3) 死刑の戦士
 - 4) 怒りの日
 - 5) 鎮魂歌
 - 6) 歌
- 指揮：福永 陽一郎

アンコール

- 1) 野ばら (詩：G. W. Goethe / 曲：F. Mendelssohn) 指揮：福永 陽一郎
- 2) 遙かな友に 指揮：早武 淳

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：早武 淳
- 2) 光る青雲 指揮：早武 淳
- 3) Ride the Chariot 指揮：早武 淳
- 4) 斎太郎節 指揮：早武 淳
- 5) 早稲田の栄光 指揮：高橋 弘行

<早稲田大学グリークラブ 第37回定期演奏会-1>

1989/11/26 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30629~30

レコードジャケットの名簿によるとT1=18, T2=21, B1=26, B2=25 計90名となっている。

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：高橋 弘行

3. 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」

作詩：尾崎 喜八 作曲：多田 武彦

- 1) 冬野
- 2) 最後の雪に
- 3) 春愁 ~ゆくりなく八木重吉の詩碑の立つ田舎を通過して~
- 4) 天上沢
- 5) 牧場
- 6) かけす

指揮：高橋 弘行

4. 合唱による風土記～「阿波」

作曲：三木 稔

- 1) たいしめ(鯛締)
- 2) 麦打ち
- 3) もちつき(餅搗)
- 4) 水取り
- 5) たたら(踏鞴)

指揮：佐々木 修

<早稲田大学グリークラブ 第37回定期演奏会-2>

1989/11/26 東京厚生年金会館大ホール
VICTOR PRC-30629~30

5. ミュージカル「メリーポピンズ」

詩・曲：Richard M. Sharman、Robert B. Sharman 編曲：福永 陽一郎

- 1) Introduction ~ Chim Chim Cheree
- 2) Jolly Holiday
- 3) Stay Awake
- 4) Supercalifragilisticexpialidocious
- 5) Feed the birds, Tuppence a bag 指揮：高橋 弘行
- 6) A Spoonful of Sugar ~ Finale P f：坂井 伸之

6. 「ヨハン・シュトラウス オリジナル男声合唱曲集」

作詩：J. Weyl、Franz von Gerneth 作曲：Johann Strauss II

- 1) Wein, Weib und Gesang 指揮：福永 陽一郎
- 2) Sangerlust P f：久邇 之宜、池谷 玲子
- 3) An der schonen blauen Donau

アンコール

- 1) Tritsch-Tratsch Polka (詩：安田 二郎/曲：J. Strauss II) 指揮：福永 陽一郎
- 2) Ev'ry Time I Feel The Spirit (黒人霊歌/編曲：William L. Dawson)
- 3) 青葉城恋歌 (詩：星間 船一/曲：さとう 宗幸/編曲：石川 浩)
- 4) 遥かな友に 指揮：高橋 弘行

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：高橋 弘行
- 2) 光る青雲 指揮：高橋 弘行
- 3) U BOJ 指揮：高橋 弘行
- 4) 斎太郎節 指揮：高橋 弘行
- 5) 早稲田の栄光 指揮：鎌田 浩二

<早稲田大学グリークラブ 第38回定期演奏会-1>

1990/11/24 渋谷公会堂

1. 校歌「都の西北」

クラブソング「輝く太陽」

指揮：鎌田 浩二

2. 「Zigeunermelodien Op. 55」

作詩：Adolf Heyduk 作曲：Antonin Dvořák 編曲：福永 陽一郎

- 1) Mein Lied ertönt (わが歌ひびけ)
 - 2) Ei, wie mein Triangel (きけよトライアングル)
 - 3) Rings ist der Wald (森はしずかに)
 - 4) Als die alte Mutter (わが母の教えたまいし歌)
 - 5) Reingestimmt die Saiten (弦を整えて)
 - 6) In dem weiten breiten, luft'gen Leinenkleide (軽い着物)
 - 7) Darf des Falken Schwinge (鷹は自由に)
- アンコール Die Nacht (曲：F. Schubert)

指揮：岡田 司
P f：久邇 之宜

3. 「コダーイ男声合唱曲集」

作曲：Kodály Zoltán

- 1) A szabadsag himnusza (La Marseillaise)
- 2) Esti dal
- 3) Katonadal
- 4) Rabhazának fia
- 5) Nemzeti dal

指揮：鎌田 浩二
Trumpet：坂場成昭
Snare Drum：篠原 竜彦

4. 「日本民謡集」

- 1) 大漁祝い (福島県民謡/曲：清水 脩)
- 2) 五木の子守歌 (熊本県民謡/曲：清水 脩)
- 3) 黒田節 (福岡県民謡/曲：清水 脩)
- 4) そうらん節 (北海道民謡/曲：清水 脩)
- 5) 中国地方の子守歌 (編曲：福永 陽一郎)
- 6) おてもやん (熊本県民謡/編曲：福永 陽一郎)

指揮：鎌田 浩二

<早稲田大学グリークラブ 第38回定期演奏会-2>

1990/11/24 渋谷公会堂

5. 「纏文」(男声合唱とピアノのための)

作詩：宗 左近 作曲：荻久保 和明

- 1) 透明
- 2) 曙
- 3) 行進
- 4) 波の墓

指揮：荻久保 和明
P f：久瀨 之宜

アンコール

- 1) 幼い日の友に (詩：こわせたまみ/曲：荻久保 和明)
- 2) 歌劇「ナブッコ」より
「行け、わが歌よ、金色の翼に乗りて」 (曲：G. Verdi)
- 3) 遥かな友に

指揮：荻久保 和明

指揮：鎌田 浩二
P f：久瀨 之宜

指揮：鎌田 浩二

ステージストーム

- 1) 紺碧の空
- 2) 光る青雲
- 3) 見上げてごらん夜の星を
- 4) 斎太郎節
- 5) 早稲田の栄光

指揮：鎌田 浩二

指揮：田中 宏

<早稲田大学グリークラブ 第39回定期演奏会-1>

1991/11/24 東京厚生年金会館大ホール

アンコール

- 1) アンコール 歌劇「トロヴァトーレ」より
「鍛冶屋の合唱（アンヴィル・コーラス）」
- 2) Türkisches Schenkenlied ～トルコの居酒屋の歌～
- 3) 遙かな友に

指揮：北村 協一
P f：久瀬 之宜

指揮：田中 宏

指揮：田中 宏

ステージストーム

- 1) 紺碧の空
- 2) 光る青雲
- 3) 見上げてごらん夜の星を
- 4) 斎太郎節
- 5) 早稲田の栄光

指揮：田中 宏

指揮：宍戸 誠

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：田中 宏

3. 男声合唱組曲「月光とピエロ」

作詩：堀口 大聖 作曲：清水 脩

- 1) 月夜
- 2) 秋のピエロ
- 3) ピエロ
- 4) ピエロの嘆き
- 5) 月光とピエロとピエレットの唐草模様

指揮：田中 宏

4. 「ヴェルディ・オペラ合唱曲集」

作曲：Giuseppe Verdi

- 1) 歌劇「群盗」より
「盗賊の合唱」～略奪、暴行、放火、殺人～
- 2) 歌劇「マクベス」より
「刺客の合唱」～静かに彼を待つとしよう～
- 3) 歌劇「ナブッコ」より
「ヘブライの捕虜たちの合唱」～行け、我が想いよ、黄金の翼に乗りて～
- 4) 歌劇「椿姫」より
「闘牛士の合唱」～我らはマドリッドから来た闘牛士～
- 5) 歌劇「トロヴァトーレ」より
「僧侶の合唱」～ミゼレレ～
- 6) 歌劇「エルナーニ」より
「第二幕 フィナーレ」
- 7) アンコール 歌劇「トロヴァトーレ」より
「鍛冶屋の合唱（アンヴィル・コーラス）」

指揮：北村 協一
P f：久瀬 之宜
独唱：宇佐美 瑠璃
福井 敬

<早稲田大学グリークラブ 第39回定期演奏会-2>

1991/11/24 東京厚生年金会館大ホール

5. 「前田憲男のザッツ・エンターテイメント」

- 1) Opening theme ~That's Entertainment
- 2) ニグロ・スピリチュアルズ
Ev'ry Time I Feel the Spirit (指揮: 田中 宏)
Nobody Knows the Trouble I See
Old Black Joe
- 3) アメリカン・ポップス
Dinah (詩: Sam M. Louis, Joe Young 曲: Harry Akst)
Dry Bones (黒人霊歌)
Moonlight Serenade (詩: Mitchell Parish 曲: Glenn Miller)
Day By Day (詩: Sammy Cahn 曲: Alex Stordahl, Paul Weston)
Only You (詩・曲: Buck Ram, Ande Rand)
Aquarius (詩: James Rado, Jerome Ragni 曲: Galt Macdermot)
- 4) 日本の歌
いとしのエリー (詩・曲: 桑田 佳祐)
影を慕いて (詩・曲: 古賀 政男)
- 5) Ending theme ~That's Entertainment (詩: Howard Dietz 曲: Arthur Schwartz)
- 6) アンコール Sunny Day (Sesame Street) (詩: Bruce Hart 曲: Joe Raposo)

編曲・指揮・P f・演出・お話: 前田 憲男
Drums: 富士森 康之
Bass: 安ヶ川 大樹

<早稲田大学グリークラブ 第40回定期演奏会-1>

1992/11/29 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：宍戸 誠

3. 「チャイコフスキー歌曲集」

作曲：P. Tchaikovskii 編曲：福永 陽一郎

- 1) Warum? (何故?)
- 2) Nicht worte, Geliebter (語るな、我が友よ)
- 3) Inmitten des Balles (舞踏会の中で)
- 4) Wieder wie früher (再びもとのような孤独で)
- 5) Nur wer die Sehnsucht kennt (憧れを知る者のみが)
- 6) Stättchen des Don Juan (ドン・ファンのセレナーデ)

指揮：宍戸 誠
P f : 久邇 之宜

4. 「合唱のためのコンポジションⅢ」

作曲：間宮 芳生

- 1) 鐘
- 2) 羯鼓
- 3) 引き念仏

指揮：栗山 文昭

5. 「Robert Shaw Male Chorus Series」

編曲：A. Parker, R. Shaw

- 1) Die Lorelei (ローレライ)
- 2) Marianina (マリアニーナ)
- 3) Stodole Pampa (ストドレ・ブンバ)
- 4) Loch Lomond (ロッホ・ローモンド)
- 5) Love's Old Sweet Song (やさしき愛の歌)
- 6) Vive L'Amour (愛に乾杯)

指揮：Makoto Shishido

<早稲田大学グリークラブ 第40回定期演奏会-2>

1992/11/29 東京厚生年金会館大ホール

6. 「纏文ラプソディー（オーケストラ版初演）」

作詩：宗 左近 作曲・編曲：荻久保 和明

- 1) 噴煙
- 2) 滝壺舞踏
- 3) 讃歌・悲歌

指揮：荻久保 和明
管弦楽：TOKYO SYMPHONY チェンバーグループ

アンコール

- 1) Finlandia Hymni (曲：J. Sibelius) 指揮：荻久保 和明
- 2) 男声合唱組曲「柳河風俗詩」より「柳河」 指揮：栗山 文昭
- 3) 男声合唱のための組曲「Man of La Mancha」より「Impossible Dream」 指揮：穴戸 誠
- 4) 遙かな友に 指揮：穴戸 誠

ステージストーム

- 1) 紺碧の空
- 2) 光る青雲
- 3) Sailing Sailing
- 4) 斎太郎節 指揮：穴戸 誠
- 5) 早稲田の栄光 指揮：神馬 豊彦

<早稲田大学グリークラブ 第41回定期演奏会-1>

1993/11/28 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：神馬 豊彦

3. 「ドイツオペラ男声合唱名曲集」

- 1) 水夫の合唱 R. Wagner 「さまよえるオランダ人」より
- 2) 僧侶の合唱 W. A. Mozart 「魔笛」より
- 3) 狩人の合唱 C. M. V. Weber 「魔弾の射手」より
- 4) 四人の合唱 L. V. Beethoven 「フィデリオ」より
- 5) 巡礼の合唱 R. Wagner 「タンホイザー」より

指揮：神馬 豊彦
P f : 久邇 之宜

4. 男声合唱組曲「雪と花火」

作詩：北原 白秋 作曲：多田 武彦

- 1) 片恋
- 2) 彼岸花
- 3) 芥子の葉
- 4) 花火

指揮：松尾 葉子

5. 男声合唱のための「アイヌのウポゴ」

採譜：近藤 鏡二郎 作曲：清水 脩

- 1) くじら祭り
- 2) イヨマンテ（熊祭り）
- 3) ピリカ ピリカ
- 4) 日食月食に祈る歌
- 5) 恋歌
- 6) リムセ（輪舞）

指揮：神馬 豊彦

<早稲田大学グリークラブ 第41回定期演奏会-2>

1993/11/28 東京厚生年金会館大ホール

6. 「愛のリコール '93」

編曲：宇田川 安明

- 1) 愛の歌 (Ich liebe dich)
- 2) Diana
- 3) 金髪のジェニー
- 4) Oh スザンナ
- 5) Mona Lisa
- 6) Yila Yila (ジーラ ジーラ)
- 7) Sans Toi M'amie
- 8) 男と女
- 9) シェリーに口づけ
- 10) 女心の歌
- 11) Oh, Pretty Woman
- 12) サッチャン
- 13) 函館の女
- 14) フィナーレ〜早稲グリより. 愛しき地球の女たちへ〜

指揮：辻 正行
P f：黒尾 友美子

アンコール

- | | |
|-----------------|----------|
| 1) お富さん | 指揮：辻 正行 |
| 2) O Holy Night | 指揮：松尾 葉子 |
| 3) 秋の歌 | 指揮：神馬 豊彦 |
| 4) 遥かな友に | 指揮：神馬 豊彦 |

ステージストーム

- | | |
|--------------------|----------|
| 1) 紺碧の空 | 指揮：神馬 豊彦 |
| 2) 光る青雲 | 指揮：神馬 豊彦 |
| 3) Sailing Sailing | 指揮：神馬 豊彦 |
| 4) 斎太郎節 | 指揮：神馬 豊彦 |
| 5) 早稲田の栄光 | 指揮：大屋 誠 |

<早稲田大学グリークラブ 第42回定期演奏会-1>

1994/11/27 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：大屋 誠

3. 男声合唱組曲「在りし日の歌」

作詩：中原 中也 作曲：多田 武彦

- 1) 米子
- 2) 早春の風
- 3) 閑寂
- 4) 骨
- 5) また来ん春

指揮：大屋 誠

4. 「FIER ERNSTE GESAENGE (四つの厳肅な歌) Op. 121」

作曲：J. Brahms 編曲：福永 陽一郎

- 1) Denn es gehet dem Menschen
- 2) Ich wandte mich um und sahe an
- 3) O Tod, wie bitter bist du
- 4) Wenn ich mit Menschen und mit Engelszungen

指揮：鈴木 成夫
P f：山内 知子

5. 「アニメの森にきてみろリン」

編曲：猪間 道明

- 1) 宇宙戦艦ヤマト
- 2) 寸劇
- 3) ゆけゆけ飛雄馬
- 4) 寸劇
- 5) ルパン3世のテーマ
- 6) 寸劇
- 7) アタックNo.1の歌
- 8) ニルスのふしぎな旅
- 9) 寸劇
- 10) The Galaxy Express 999

指揮：大屋 誠
P f：山本 英美

「アニメの森にきてみろリン」は、その後著作権関連の許諾が得られなかったとのことで、最終的にこの定期演奏会そのものの対外的なライブCDの販売が凍結された。言わば幻の音源である。

<早稲田大学グリークラブ 第42回定期演奏会-2>

1994/11/27 東京厚生年金会館大ホール

6. 男声合唱のための「季節へのまなざし」

作詩：伊藤 海彦 作曲：荻久保 和明

- 1) ひらく
- 2) のびる
- 3) みのる
- 4) ゆめみる

指揮：黒岩 秀臣
P f：久邇 之宜

アンコール

- 1) ドン・ファンのセレナーデ
(曲：P. Tchaikovskii／編曲：福永 陽一郎)

指揮：黒岩 秀臣
P f：久邇 之宜

- 2) Venematka (曲：J. Sibelius)

指揮：鈴木 成夫

- 3) IN TABERNA QUANDO SUMUS
(曲：Carl Orff 「Carmina Burana」より)

指揮：大屋 誠

- 4) 遙かな友に

指揮：大屋 誠

ステージストーム

- 1) 紺碧の空
- 2) 光る青雲
- 3) Didn't My Lord Deliver Daniel
- 4) 斎太郎節
- 5) 早稲田の栄光

指揮：大屋 誠
指揮：大屋 誠
指揮：大屋 誠
指揮：大屋 誠
指揮：西川 竜太

<早稲田大学グリークラブ 第43回定期演奏会-1>

1995/11/26 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：西川 竜太

3. 男声合唱組曲「柳河風俗詩」

作詩：北原 白秋 作曲：多田 武彦

- 1) 柳河
- 2) 紺屋のおろく
- 3) かきつばた
- 4) 梅雨の晴れ間

指揮：西川 竜太

4. 男声合唱組曲「野分」

作詩：井上 靖 作曲：高田 三郎

- 1) 海辺
- 2) 野分
- 3) 木乃伊

指揮：西川 竜太
P f : 久邇 之宜

5. 「Magic Songs」

作曲：R. Murray Schafer

- 1) CHANT TO BRING BACK THE WOLF
- 2) CHANT TO MAKE FENCES FALL DOWN
- 3) CHANT TO MAKE FIREFLIES GLOW
- 4) CHANT FOR CLEAR WATER
- 5) CHANT FOR THE SPIRITS OF HUNTED ANIMALS
- 6) CHANT TO KEEP THE MOSQUITOES FROM BITING
- 7) CHANT TO MAKE THE BEARS DANCE
- 8) CHANT TO MAKE THE STONES SING
- 9) CHANT TO MAKE THE MAGIC WORK

指揮：田中 信昭

<早稲田大学グリークラブ 第43回定期演奏会-2>

1995/11/26 東京厚生年金会館大ホール

6. 男声合唱とピアノのための「編文士偶」

作詩：宗 左近 作曲：三善 晃

- | | |
|---------|----------|
| 1) 王子 | 指揮：田中 信昭 |
| 2) ふるさと | P f：中嶋 香 |

アンコール

- | | |
|---|----------|
| 1) 二群の男声合唱とピアノのための「路標のうた」 (詩：木島 始/曲：三善 晃) | 指揮：田中 信昭 |
| 2) 雨 (男声合唱組曲「水のいのち」より 詩：高野 喜久雄/曲：高田 三郎) | 指揮：西川 竜太 |
| 3) 薔薇よ (男声合唱とピアノのための「三つの時刻」より 詩：丸山 薫/曲：三善 晃) | 指揮：西川 竜太 |
| 4) 遥かな友に | 指揮：西川 竜太 |

ステージストーム

- | | |
|-----------------|----------|
| 1) 紺碧の空 | 指揮：西川 竜太 |
| 2) 光る青雲 | 指揮：西川 竜太 |
| 3) Vive l'amour | 指揮：西川 竜太 |
| 4) 斎太郎節 | 指揮：西川 竜太 |
| 5) 早稲田の栄光 | 指揮：金井 博史 |

<早稲田大学グリークラブ 第44回定期演奏会-1>

1996/11/24 東京厚生年金会館大ホール

CDジャケットの名簿によるとT1=28, T2=26, B1=33, B2=26 計113名となっている。

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：金井 博史

3. 「ロバート・ショウ男声合唱曲集」

編曲：Alice Parker & Robert Shaw

- 1) Grandfather's Clock
- 2) Seeing Nellie Home
- 3) Aura Lee
- 4) Loch Lomond
- 5) Vive L'Amour

指揮：金井 博史

4. 男声合唱曲「わたしの願い」

作詩：高野 喜久雄 作曲：高田 三郎 編曲：須賀 敬一

- 1) いま わたしがほしいのは
- 2) 雲雀にかわれ

指揮：阿部 昌司
P f：中村 有木子
独唱：見山 よし子

5. 男声合唱曲「枯木と太陽の歌」

作詩：中田 浩一郎 作曲：石井 敏

- 1) 枯木は独りで唱う
- 2) 花と太陽の会話
- 3) 冬の夜の木枯しの合唱
- 4) 枯木は太陽に祈る

指揮：鈴木 成夫
P f：山内 知子

<早稲田大学グリークラブ 第44回定期演奏会-2>

1996/11/24 東京厚生年金会館大ホール

6. 男声合唱のための組曲「Man of La Mancha」

作詩：Joe Darion 作曲：Mitch Leigh 編曲：源田 俊一郎

- 1) Man of La Mancha
- 2) I Really Like Him
- 3) Dulcinea
- 4) Barber's Song ~Golden Helmet of Mambrino
- 5) Little Bird, Little Bird
- 6) Finale: Knight of The Woeful Countenance 指揮：鈴木 成夫
- 7) ~Man of La Mancha Pf：山内 知子
- 8) ~The Impossible Dream Perc：早稲田大学交響楽団

アンコール

- 1) なごり雪（編曲：宇田川 安明） 指揮：鈴木 成夫
- 2) 飛翔—白鷺（男声合唱組曲「内なる遠さ」より 指揮：阿部 昌司
詩：高野 喜久雄／曲：高田 三郎）
- 3) Good Night Ladies（編曲：Alice Parker & Robert Shaw） 指揮：金井 博史
- 4) 遙かな友に 指揮：金井 博史

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：金井 博史
- 2) 光る青雲 指揮：金井 博史
- 3) 斎太郎節 指揮：金井 博史
- 4) 早稲田の栄光 指揮：山脇 卓也

CDジャケットの名簿によるとT1=29, T2=30, B1=32, B2=28 計119名となっている。
うち4年生=16名, 3年生=36名, 2年生=27名, 1年生=40名という構成で、4年生の奮闘と苦勞が偲ばれる。

資料音源/不許複製

<早稲田大学グリークラブ 第45回定期演奏会-1>

1997/11/30 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：山脇 卓也

3. 男声合唱による「日本抒情歌曲集」

編曲：林 光

- 1) 箱根八里 (詩：鳥居 忱/曲：滝 廉太郎)
- 2) 早春賦 (詩：吉丸 一昌/曲：中田 章)
- 3) 叱られて (詩：清水 かつら/曲：弘田 龍太郎)
- 4) 待ちぼうけ (詩：北原 白秋/曲：山田 耕筰)
- 5) 浜辺の歌 (詩：林 古溪/曲：成田 為三)

指揮：山脇 卓也
P f：久瀨 之宜

4. 「マックス・レーガー男声合唱曲集」

<Zehn Gesaenge für Männerchor (Opus83) より>

作曲：Max Reger

- 1) An Das Meer (海に寄す)
- 2) Husarendurchmarsch (駆け抜ける軽騎兵)
- 3) Freude soll in deinen Werken Sein! (歓喜を汝が業に)

指揮：松原 千振

5. 「Sea Shanties」

編曲：Alice Parker & Robert Shaw

- 1) Swansea Town
- 2) Whup! Jamboree
- 3) Shenandoah
- 4) What Shall We Do With The Drunken Sailor
- 5) The Drummer And The Cook

指揮：山脇 卓也
ギター：早稲田大学ギタークラブ

<早稲田大学グリークラブ 第45回定期演奏会-2>

1997/11/30 東京厚生年金会館大ホール

6. 「ハレー彗星独白」～男声合唱とピアノのための組曲 /1997年度委嘱作品・初演

作詩：大岡 信 作曲：鈴木 輝昭

- | | |
|------------------|------------|
| 1) 弥生人よ きみらはどうして | 指揮：栗山 文昭 |
| 2) 竹林孵卵 | P f：鈴木 あずさ |
| 3) ハレー彗星独白 | |

アンコール

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1) 卒業 | 指揮：栗山 文昭 |
| 2) Ej, dziny, dziny, dom | 指揮：松原 千振 |
| 3) 白鳥 | 指揮：山脇 卓也 |
| 4) 遥かな友に | 指揮：山脇 卓也 |

ステージストーム

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 紺碧の空 | 指揮：山脇 卓也 |
| 2) 光る青雲 | 指揮：山脇 卓也 |
| 3) 斎太郎節 | 指揮：山脇 卓也 |
| 4) 早稲田の栄光 | 指揮：増子 徳幸 |

<早稲田大学グリークラブ 第46回定期演奏会-1>

1998/11/29 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：増子 徳幸

3. 「北欧合唱曲集」

- 1) Men med undran (「Finsk Idyll」より 詩：Johan Ludvig Runeberg
／曲：Wilhelm Peterson-Berger)
- 2) Kulldansen (スウェーデン舞曲 編曲：Hugo Alfvén)
- 3) En latmansmelodi (詩：Ernst Viktor Knape／曲：Selim Palmgren)
- 4) Broellopsgarden (組曲「田舎の婚礼」より 詩：Richard Gustafsson
／曲：August Soederman)
- 5) Sverges flagga (詩：K.G. Ossiannilsson／曲：Hugo Alfvén)

指揮：増子 徳幸

4. 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」

作詩：尾崎 喜八 作曲：多田 武彦

- 1) 冬野
- 2) 最後の雪に
- 3) 春愁 ～ゆくりなく八木重吉の詩碑の立つ田舎を通過して～
- 4) 天上沢
- 5) 牧場
- 6) かけす

指揮：北村 協一

5. わんぱくワセグリっ子大集合！～どんぐり山は大騒ぎだチュン～

編曲：大竹 くみ

- 1) チュンチュンワールド (詩：森 有栖香／曲：赤坂 東児)
- 2) 赤鬼と青鬼のタンゴ (詩：加藤 直／曲：福田 和禾子)
- 3) 小さな木の実 (詩：海野 洋司／曲：G. ビゼー)
- 4) 川はだれのもの？ (詩・曲：みなみ らんぼう)
- 5) 地球はみんなの大合唱 (詩：ビーンズ豆田／曲：関 和則)
- 6) おもいでアルバム (詩：増子 とし／曲：本多 鉄麿)
- 7) Stage Encore トレロ カモミロ (詩：阪田 寛／曲：バガーノ)

指揮：増子 徳幸

エレクトーン：大竹 くみ

<早稲田大学グリークラブ 第46回定期演奏会-2>

1998/11/29 東京厚生年金会館大ホール

6. 男声合唱組曲「御膳」

作曲：大島 ミチル

- | | |
|------------|-----------------|
| 1) ガラサ道 | 指揮：北村 協一 |
| 2) アヴェ・マリア | P f：藤田 雅 |
| 3) 養踊 | 独唱：牧野 真由美 |
| 4) 獅子の泣き歌 | Perc：小島 光、高橋 明邦 |
| 5) 御膳 | |

アンコール

- | | |
|--|----------|
| 1) Maria (「West Side Story」より 詩：Stephen Sondheim ／曲：Leonard Bernstein／編曲：北村 協一) | 指揮：北村 協一 |
| 2) O Holy Night | 指揮：増子 徳幸 |
| 3) 遥かな友に | 指揮：増子 徳幸 |

ステージストーム

- | | |
|-----------|----------|
| 1) 紺碧の空 | 指揮：増子 徳幸 |
| 2) 光る青雲 | 指揮：増子 徳幸 |
| 3) U Boj | 指揮：増子 徳幸 |
| 4) 斎太郎節 | 指揮：増子 徳幸 |
| 5) 早稲田の栄光 | 指揮：池畑 光浩 |

<早稲田大学グリークラブ 第47回定期演奏会-1>

1999/11/28 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：池畑 光浩

3. 「コダーイ男声合唱曲集」

作曲：Kodály Zoltán

- 1) A MAGYAROKHOZ
- 2) SEMMIT NE BÁNKÓDJAL
- 3) ELET VAGY HALAL
- 4) MULATO GAJD

指揮：池畑 光浩

4. 「合唱のためのコンポジション14番」

作曲：間宮 芳生

- 1) 真言
- 2) 勧請
- 3) 合殺

指揮：松原 千振

5. 男声合唱と高音でひこってしまう男声らのための「Liverpool抒情歌曲集。」

- 1) You've Got To Hide Your Love Away
- 2) Eleanor Rigby
- 3) Can't Buy Me Love
- 4) Back In The U.S.S.R

指揮：池畑 光浩

<早稲田大学グリークラブ 第47回定期演奏会-2>

1999/11/28 東京厚生年金会館大ホール

6. 二群の男声合唱・ピアノ・打楽器のための「黙示録・縄文」 / 1999年度委嘱作品・初演

作詩：宗 左近 作曲：荻久保 和明

- 1) 崩壊
- 2) 廃墟
- 3) 永遠なるもの -そして物語ははじまる-

指揮：荻久保 和明
P f：久邇 之宜
Perc：菅原 淳

アンコール

- 1) 透明 (男声合唱とピアノのための「縄文」より
作詩：宗 左近 作曲：荻久保 和明)
- 2) 刈干切唄 (男声合唱のための「二つの日本民謡」より
編曲：松下 耕)
- 3) MICHELLE 指揮：池畑 光浩
- 4) 遥かな友に 指揮：池畑 光浩

指揮：荻久保 和明

指揮：松原 千振

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：池畑 光浩
- 2) 光る青雲 指揮：池畑 光浩
- 3) 斎太郎節 指揮：池畑 光浩
- 4) 早稲田の栄光 指揮：半田 大祐

CDジャケットの名簿によるとT1=33, T2=32, B1=38, B2=29 計132名となっている。
1990年代後半以降、これほどの大人数を確保出来ている大学男声合唱団は、早稲田グリーのみである。

資料音源/不許複製

<早稲田大学グリークラブ 第48回定期演奏会-1>

2000/11/26 東京厚生年金会館大ホール

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：半田 大祐

3. 「ノスタルジア」

編曲：信長 貴富

- 1) この道 (詩：北原 白秋/曲：山田 耕筰)
- 2) 赤とんぼ (詩：三木 露風/曲：山田 耕筰)
- 3) 箱根八里 (詩：鳥居 枕/曲：瀧 廉太郎)
- 4) 花 (詩：武島 羽衣/曲：瀧 廉太郎)
- 5) 故郷 (詩：高野 辰之/曲：岡野 貞一)

指揮：半田 大祐

4. ヴェルディ没後100周年記念前夜祭「ヴェルディ・オペラ名場面集」

(ミレニアム・ワセグリ・ヴァージョン)

作曲：Giuseppe Verdi

- 1) ~2) トロヴァトーレ
- 3) リゴレット
- 4) (Stage Encore) エルナーニ

指揮：山田 敦

Br独唱：ヒュン=ユン

Orch：東京シティ・オーケストラ有志

5. 「夏かしのメロディ」

編曲：宇田川 安明

- 1) シーズン・イン・ザ・サン
- 2) 青い珊瑚礁
- 3) Mr. サマータイム
- 4) 夏かしのメドレー
- 5) 海、その愛
- 6) Ending
- 7) (Stage Encore) 真夏の果実

指揮：半田 大祐

P f：横山 歩

<早稲田大学グリークラブ 第48回定期演奏会-2>

2000/11/26 東京厚生年金会館大ホール

6. 「男声合唱のためのカオス」

作曲：水野 修孝

- 1) 序
- 2) 人間は
- 3) キリエ
- 4) カオス
- 5) カオスの後
- 6) Expecto I
- 7) ラストコーラス

指揮：田中 信昭
Org.：近藤 岳
(協賛：エレクトーンシティ渋谷)
Perc：三橋 敦、横山 大司

アンコール

- 1) 宇宙線驟雨のなかで (「草野心平の詩から 第三」より
詩：草野 心平/曲：多田 武彦) 指揮：田中 信昭
- 2) 遙かな友に 指揮：半田 大祐

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：半田 大祐
- 2) 光る青雲 指揮：半田 大祐
- 3) 斎太郎節 指揮：半田 大祐
- 4) 早稲田の栄光 指揮：下田 浩司

<早稲田大学グリークラブ 第49回定期演奏会-1>

2001/11/25 東京厚生年金会館大ホール

5. 「ワセグリ映画祭2001」

編曲：大竹 くみ

- 1) Opening-2001年宇宙の旅
- 2) Stand by me (詩・曲：Ben. E. King)
- 3) The Sound of Music
- 4) ~My Favorite Things
- 5) ~Climb Ev'ry Mountain
(詩：Oscar Hammerstein II / 曲：Richard Rodgers)
- 6) ゴンドラの歌 (詩：吉井 勇 / 曲：中山 晋平)
- 7) 男はつらいよ (詩：星野 哲郎 / 曲：山本 直純)
- 8) Pretty Woman (詩・曲：Roy Orbison)
- 9) MY HEART WILL GO ON ~The Love Theme of "Titanic"
(詩：Will Jennings / 曲：James Horner)

10) (Stage Encore) 蒲田行進曲

指揮：下田 浩司
ソルトン：二宮 あや

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：下田 浩司

3. 「世界の民俗音楽」

- 1) Unter allen auf dieser Erden (この世の全てのものの中で
詩・曲：Hans Leo Hassler / 編曲：田中 宏)
- 2) El cant del ocells (鳥の歌 カタルーニャ民謡 / 編曲：田中 宏)
- 3) Incantatio maris aestuosi (大波の魔術 フィンランド叙事詩“カレワラ”より
ラテン語訳：Tuomo Pekkanen / 曲：Veljo Tormis)
- 4) El Carbon (炭売り コロンビア民謡 / 編曲：Rito Mantilla)
- 5) Nkosi sikeleli Africa (神よ アフリカに祝福を 詩：Samuel Mqhayi
/ 曲：Enoch Son tonga / 編曲：田中 宏)
- 6) 鳳陽歌 (安徽省民謡 / 曲：陳 怡)
- 7) そうらん節 (北海道民謡 / 作曲：清水 脩 / 編曲：福永 陽一郎)

指揮：下田 浩司

4. 男声合唱組曲「海鳥の詩」

作詩：更科 源蔵 作曲：廣瀬 量平

- 1) オロロン鳥
- 2) エトピリカ
- 3) 海鶉
- 4) 北の海鳥

指揮：山本 健二
Pf：黒尾 友美子

→

<早稲田大学グリークラブ 第49回定期演奏会-2>

2001/11/25 東京厚生年金会館大ホール

CDジャケットの名簿によるとT1=30, T2=35, B1=35, B2=25 計125名となっている。

6. 「水と影 影と水」～男声合唱とピアノのために /2001年度委嘱作品・初演

作詩：Federico Garcia Lorca 訳詩：長谷川 四郎 作曲：寺嶋 陸也

- 1) 馬にのったドン・ペドロ 池のあるパーレスク風ロマンス
Burla de Don Pedro a caballo
 - 2) グラナダと一八五〇
Granada y 1850
 - 3) スペイン警官隊のロマンス
Romance de la Guardia Civil espanola
- 指揮：寺嶋 陸也
P f：浅井 道子

アンコール

- 1) 夕ぐれの二つの月 (作詩：F. G. Lorca 訳詩：長谷川 四郎/曲：寺嶋 陸也)
指揮：寺嶋 陸也
- 2) グラナダ (詩・曲：Augustin Lara/編曲：石丸 寛) 指揮：山本 健二
- 3) 革命詩人の詩による“十の詩曲”による「六つの男声合唱曲」より「VI. 歌」
(曲：D. Shostakovich/訳詩：安田 二郎/編曲：福永 陽一郎) 指揮：下田 浩司
- 4) 遥かな友に 指揮：下田 浩司

ステージストーム

- 1) 紺碧の空 指揮：下田 浩司
- 2) 光る青雲 指揮：下田 浩司
- 3) 斎太郎節 指揮：下田 浩司
- 4) 早稲田の栄光 指揮：佐藤 拓

<早稲田大学グリークラブ 第50回定期演奏会-1>

2002/11/24 東京厚生年金会館大ホール

CDジャケットの名簿によるとT1=28, T2=32, B1=26, B2=29 計115名となっている。

1. 校歌「都の西北」

2. クラブソング「輝く太陽」

指揮：佐藤 拓

3. 男声合唱曲「永訣の朝」

作詩：宮澤 賢治 作曲：鈴木 憲夫

指揮：佐藤 拓
P f：久邇 之宜

4. 男声合唱組曲「青いメッセージ」

作詩：草野 心平 作曲：高嶋 みどり

- 1) 月蝕と花火 序詩
- 2) 青い花
- 3) 婆さん蛙ミミミの挨拶
- 4) 秋の夜の会話
- 5) サリム自伝
- 6) ごびらっふの独白

指揮：井崎 正浩
P f：藤井 亜紀

<早稲田大学グリークラブ 第50回定期演奏会-2>

2002/11/24 東京厚生年金会館大ホール

5. 「“日本のシンドラー” 杉原千畝を顕彰して」

- 1) De Profundis (作曲: Leevi Madetoja / 指揮: 佐藤 拓)
- 2) MUISTSE MERE LAULUD (作曲: Veljo Tormis / 指揮: 松原 千振)
- 3) ~ 5) 「Natus in curas Op. 283」2002年委嘱作品
(作曲: Jonas Tamulionis / 指揮: 松原 千振)
 - 3) I
 - 4) II
 - 5) III

アンコール

- 1) PÄIKE VAJUS PÄRNAPUULE (詩: Eduard Visnapuu / 曲: Gustav Ernesaks)
指揮: 松原 千振
- 2) ジョギングの歌 ~ 川崎洋の詩による五つの男声合唱曲「やさしい魚」より
(詩: 川崎 洋 / 曲: 新実 徳英)
指揮: 井崎 正浩
- 3) 星めぐりの歌 (詩・曲: 宮澤 賢治 / 編: 早稲田大学グリークラブ)
指揮: 佐藤 拓
- 4) 遙かな友に
指揮: 佐藤 拓

ステージストーム

- 1) 紺碧の空
指揮: 佐藤 拓
- 2) 光る青雲
指揮: 佐藤 拓
- 3) 斎太郎節
指揮: 佐藤 拓
- 4) 早稲田の栄光
指揮: 石井 太樹